

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
257	曾禰崎の曙 内本町ひらのや手代徳兵衛新地 天まやお山おはつ	参考資料	書方軒		心中大鑑	巻三	①宝永1年 ③『近世文芸叢書第四 小説二』等所収
224	おはつ観音めぐり 同心中道行	参考資料	順四軒	竹本播磨少 掾	音曲口伝書		①明和8年秋 ③『音曲叢書1』（演芸珍書刊行会・大正4年3月） 等に収録
257	曾禰崎心中付り観音廻り	資料	《2》瀬川如皐＝輯		牟芸古雅志	下巻	①文政9年 ③『日本随筆大成 第二期 第二巻』等所収
	曾根崎心中考	研究	梅沢和軒		新小説	第2巻1号	①明治30年3月 ④春陽堂
	院本 曾根崎心中	本文			浪花名物浄瑠璃雜誌	第10号	①明治33年6月 ④浪花名物浄瑠璃雜誌社 ③「観音廻り」と「生玉社前」のみ
	院本雑話 (一) お初徳兵衛	参考	狂綺堂		演芸世界	第1号	①明治34年3月 ④演芸世界社
	近松評釈曾根崎心中	註釈	藤井紫影		文芸界	5～11	①明治35年6～12月 ④金港堂
	おはつ徳兵衛の墓	考証	胡蝶園		歌舞伎	第32号	①明治36年1月 ④歌舞伎発行所
	近松研究の手引（近松時代の大阪の遊里及び 遊女） (四) 新町以外の遊里 一、曾根崎新地	参考	高野辰之 近松文芸研究叢書 刊行会＝編		歌舞音曲考説 近世文芸研究叢書 第二期芸能篇37 邦楽5		①大正4年8月 ④六合館 ①平成10年1月 ④クレス出版 ③高野辰之『歌舞音曲考説』を収録
	近松著作考 二、曾根崎心中の増補 近松著作雑考 三、大阪三十三番巡	研究	高野辰之 近松文芸研究叢書 刊行会＝編		歌舞音曲考説 近世文芸研究叢書 第二期芸能篇37 邦楽5		①大正4年8月 ④六合館 ①平成10年1月 ④クレス出版 ③高野辰之『歌舞音曲考説』を収録
	近松門左衛門 近松の作物と文章	研究本 文	秋山木芳（清） 近松文芸研究叢書 刊行会＝編		義太夫大鑑 近世文芸研究叢書 第二期芸能篇23 浄瑠璃3	上巻	①大正6年12月 ④満州日日新聞社 ③一部省略の浄瑠璃本文（節章あり）、辰松八郎 兵衛口上の写し付載 ①平成9年8月 ④クレス出版 ③秋山木芳『義太夫大鑑』を収録
462	曾根崎心中	研究	木谷蓬吟		大近松全集	第3巻	①大正11年6月 ④大近松全集刊行会
	曾根崎心中と心中涙の玉の井	研究	藤村作		東洋哲学	第29篇第9 号	①大正11年9月 ④東洋哲学発行所

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	心中物の初作について藤村博士に請益す	研究	三田村鳶魚		東洋哲学	第29篇第12号	①大正11年12月 ④東洋哲学発行所
	曾根崎心中譚	研究	高野斑山		新小説		①大正11年12月 ④春陽堂 ③国語国文学研究史大成10『近松』（三省堂・昭和39年11月）の研究文献目録等に拠る
	心中物の初作に就いての質しに答ふ—三田村鳶魚君へ—	研究	藤村作		東洋哲学	第30篇第1号	①大正12年1月 ④東洋哲学発行所
	曾根崎心中に就いて	研究	宮崎晴美		国語教育		①大正12年8月 ④不明 ③国語国文学研究史大成10『近松』（三省堂・昭和39年11月）の研究文献目録に拠る
	『曾根崎心中』の事実	研究	三田村鳶魚		近松の心中物自由恋愛の復活		①大正13年5月 ④崇文堂
					三田村鳶魚全集	第12巻	①昭和51年4月 ④中央公論社 ③『自由恋愛の復活』『芝居風俗』『女の流行』を収録
	曾根崎心中	小説化	小山龍之輔		近松物語		①大正13年11月（改版） ④東京成光館出版部 ③「浄瑠璃略史」・解題付載、上演資料集〈357〉に拠る
462	相愛の悲劇たる近松の心中物 「曾根崎心中」について 近松の浄瑠璃の解釈について	研究	前島春三		近松研究の序篇		①大正14年1月 ④武蔵野書院
			近松文芸研究叢書 刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇30 浄瑠璃10		①平成9年8月 ④クレス出版 ③飯野哲二『近松の芸術と人生』、前島春三『近松研究の序篇』を収録
	曾根崎心中劇の変遷	研究	高野辰之		日本演劇の研究		①大正15年7月 ④改造社
			近松文芸研究叢書 刊行会＝編		近世文芸研究叢書 第二期芸能篇18 浄瑠璃18		①平成9年8月 ④クレス出版 ③高野辰之『日本演劇の研究』を収録
	お初徳兵衛	解説梗概	渋谷吾往齋		劇と史実		①昭和2年4月 ④聚文館
					日本演劇物語史		①昭和15年1月 ④内外出版社 ③『劇と史実』の改題復刊

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松門左衛門 39回連載	研究	怠仏		浪花名物浄瑠璃雑 誌	第266～304 号	①昭和3年2月～6年8月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社 ③第280号（昭和4年6月）に曾根崎心中の記事
	曾根崎心中	研究	藤田秀雄		国漢研究		①昭和5年7～9月 ④不明 ③国語国文学研究史大成10『近松』（三省堂・昭 和39年11月）の研究文献目録に拠る
	近松の作品 世話物 世話物全部の梗概と其の実説	梗概解 説	飯野哲二  近松文芸研究叢書 刊行会＝編		近松の芸術と人生  近世文芸研究叢書 第二期芸能篇30 浄瑠璃10		①昭和5年10月 ④賢文館  ①平成9年8月 ④クレス出版 ③飯野哲二『近松の芸術と人生』、前島春三『近 松研究の序篇』を収録
	近松墳とお初徳兵衛塚一名刹教興寺案内一	史跡	木谷蓬吟		上方	29号	①昭和8年5月 ④創元社 ③上方郷土研究会＝編。昭和44年12月新和出版社 より復刻版発行
	近松の世話浄瑠璃 （1）心中物 1、曾根崎心中	解説	高野辰之		日本演劇史 （元禄後期）	上巻	①昭和8年9月 ④啓明社
224、ブ 4、432	曾根崎心中	解説梗 概	樋口慶千代		評釈江戸文学叢書 傑作浄瑠璃集	上巻（近松 時代）	①昭和10年5月 ④大日本雄弁会講談社
	「曾根崎心中」雑考	研究	森健之助		立命館文学		①昭和10年11月 ④立命館大学人文学会 ③国語国文学研究史大成10『近松』（三省堂・昭 和39年11月）の研究文献目録・上演資料集（271） 等に拠る
	近松世話浄瑠璃研究	研究	藤村作		近松研究		①昭和11年5月 ④新潮社 ③新潮文庫174
	曾根崎心中・冥途飛脚・心中天網島	解説	鶴見誠		国文学 解釈と鑑 賞	第1巻第2号	①昭和11年7月 ④至文堂
	お初徳兵衛	書下ろ し	岡本綺堂		近松物語		①昭和12年12月 ④新潮社 ③新潮文庫266。「生玉神社」「天満屋」の部分の み ①昭和31年1月 ④青蛙房 ③復刻版

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	曾根崎心中の話	解説			浪花名物浄瑠璃雑誌	第382号	①昭和14年9月 ④浪花名物浄瑠璃雑誌社
	近松浄瑠璃の形式	研究	守随憲治		義理 守随憲治著作集	第4巻	①昭和16年7月 ④甲鳥書林 ①昭和54年2月 ④笠間書院
	近松総説 世話物について	研究	黒木勤蔵		近松門左衛門		①昭和17年1月 ④大東出版社 ③大東名著選22
	近松名作解題 曾根崎心中	解題					
	第三章 戯曲構成論 一 操浄瑠璃系の戯曲構成 (二) 世話物系の戯曲構成 1 近松の代表作「曾根崎心中」「天の網島」の構成	研究	中村吉蔵		日本戯曲技巧論		①昭和17年7月 ④中央公論社
	第四章 劇的局面論 二 世話物系の局面 (一) 心中物の局面 1 近松の遊女相手の三角関係的心中物の局面						
	第五章 劇的性格論 三 世話物系の劇的性格 (一) 操浄瑠璃系世話物の劇的性格 1 近松世話物の劇的性格						
	第六章 措辞論 一 操浄瑠璃系の文体 (一) 近松の操浄瑠璃の文体観 4 近松の道行文の一典型						
	近松心中浄瑠璃の認識	研究	木谷蓬吟		私の近松研究		①昭和17年7月 ④全国書房 ③一家言叢書3
	伝記から見た近松の人格 五 浄瑠璃作者時代 「其の一」竹本義太夫と「曾根崎心中」	研究	木谷蓬吟		人間近松門左衛門		①昭和17年8月 ④日本放送出版協会 ③ラジオ新書84

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	人形 操人形の歴史 突込人形	芸談	《3》桐竹紋十郎		文楽の人形と三味線		①昭和19年10月 ④文楽研究会
	人形 人形の構造 人形遣の名人 吉田三郎兵衛と辰松八郎兵衛			《2》桐竹紋十郎			
	三味線 三絃界の名人 竹澤権右衛門と初代鶴澤友次郎			《4》鶴沢清二郎（《1》鶴沢藤蔵）			
	曾根崎心中	小説化	大野勝也		現代語訳近松情話		①昭和22年4月 ④堀江書房
	歌謡珠玉鑑賞 * 曾根崎心中の道行	研究	内海繁太郎		国文学 解釈と鑑賞	第13巻第4号	①昭和23年4月 ④至文堂
	お初（曾根崎心中）	研究	宮嶋夏樹		近松の人人		①昭和25年6月 ④紫乃故郷舎 ③「近松研究の手引」（広末保）付載。重友毅＝編
	浄瑠璃講義1～4 近松作「曾根崎心中」	注釈	守随憲治		日本文学教室	1～3・5	①昭和25年7～9・12月 ④蒼明社
	曾根崎心中	解説 あらすじ	磯部秀見		曾根崎心中		①昭和25年9月 ④ジープ社 ③ダイジェスト・シリーズ44
23、カ 261	曾根崎心中	解説梗概	守随憲治		増補改訂日本文学大辞典	第4巻	①昭和25年10月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	悲劇詩の成立 —近松論の前提—	研究	広末保		文学	第19巻7号	①昭和26年7月 ④岩波書店
	弱者庇護の精神 2『曾根崎心中』とその改作	梗概研究	河竹繁俊		愛と死の芸術		①昭和26年10月 ④日本教文社
	民衆の作家近松—その人間的闘いの悲劇	研究	広末保		歴史評論	第5巻 第6号	①昭和26年10月 ④校倉書房
					広末保著作集	第2巻 近松序説	①平成10年9月 ④影書房

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松と義理	研究	広末保		文学	第20巻10号	①昭和27年10月 ④岩波書店
					元禄文学研究〔増補版〕		①昭和30年1月 ④東京大学出版会
					広末保著作集	第1巻元禄文学研究	①平成8年11月 ④影書房
	「曾根崎心中」について	研究	重友毅		文学	第20巻10号	①昭和27年10月 ④岩波書店
	藤十郎と近松 曾根崎心中、義理と人情				日本近世文学一展望と考察一		①昭和29年12月 ④みすず書房
	「曾根崎心中」と「心中天の網島」	研究	駒沢きみ		文学研究	第3号	①昭和28年12月 ④法政大学文学研究会
	舞踊詩作家としての近松一『曾根崎心中』の道行を中心として一	研究	角田一郎		国文学研究	30・31（合併号）	①昭和29年3月 ④早稲田大学文学会
	曾根崎心中	研究	藤野義雄		近松名作の解釈と批評		①昭和29年6月 ④学習資料社 ③「近松戯曲年表」所収
357	「曾根崎心中」について	演出	鷲谷禎風		四ツ橋文楽座筋書		①昭和30年1月 ④松竹株式会社
	近松門左衛門原作 西亭脚色並作曲 お初徳兵衛曾根崎心中	床本					③生玉社前の段、天満屋の段、天神森の段
	「曾根崎心中」のこと	解説	河竹繁俊				
	上方市民の生活倫理一「曾根崎心中」を読み て一	研究	大橋紀子		学苑	171	①昭和30年1月 ④昭和女子大学光葉会
125、 257、550	文楽だより 新春・二派文楽の競演	劇評	大西重孝		演劇界	第13巻第2号	①昭和30年2月 ④演劇出版社 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演
257	文楽二座評（因会と三和会）	劇評	升屋治三郎		幕間	第10巻第2号	①昭和30年2月 ④和敬書店 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演
462	子供・曾根崎・菅原一正月の両文楽一	劇評	北岸佑吉		演劇評論	第3巻第3号	①昭和30年3月 ④演劇評論社 ③昭和30年1月四ツ橋文楽座所演
	『二つの文楽』のたたずまい	劇評	大鋸時生		演劇評論	第3巻第5号	①昭和30年5月 ④演劇評論社 ③昭和30年3月京都南座所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『曾根崎心中』の画期的意義	研究	和辻哲郎		日本芸術史研究	第1巻（歌舞伎と操浄瑠璃）	①昭和30年3月 ④岩波書店 ③昭和46年4月改版発行
	座談会 無形文化財の責任—綱大夫に『文楽』の革新を勧告—	評論	《8》竹本綱大夫・大西重孝・北岸佑吉・沼艸雨・大鋸時生・武智鉄二・辻部政太郎		演劇評論	第3巻第6号	①昭和30年6月 ④演劇評論社 ③「曾根崎心中」の復活について
	近松物の演出について —てすりがもつ苦勞—	演出	鷺谷禰風		新橋演舞場筋書		①昭和30年7月 ④東京文楽会
188、 224、プ4	文楽の近松物について	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第13巻第11号	①昭和30年10月 ④演劇出版社 ③昭和30年7月東京新橋演舞場所演
	近松を剽竊した近松文楽	批評	近松研究会（戸部銀作＝記）	浜村米蔵・広末保・今尾哲也・戸部銀作・内海繁太郎	演劇評論	第3巻第10号	①昭和30年10月 ④演劇評論社 ③「曾根崎心中」「鍵の権三重帷子」「長町女腹切」
					近松門左衛門—研究入門—		①昭和31年8月 ④東京大学出版 ③要約
	「曾根崎心中」の文芸史的意義	研究	水谷昭夫		日本文芸研究	第8巻第2号	①昭和31年6月 ④関西学院大学日本文学会
	人間万歳の作品—「曾根崎心中」再演に当たって	批評	山口廣一		道頓堀文楽座筋書		①昭和31年9月 ④道頓堀文楽座
	過大舞台の破綻 九月の文楽座	劇評	北岸佑吉		幕間	第11巻第10号	①昭和31年10月 ④和敬書店 ③昭和31年9月道頓堀文楽座所演
	共同研究（10）近松の作品	研究	郡司正勝・加賀山直三・戸部銀作		演劇界	第14巻第11号	①昭和31年10月 ④演劇出版社
	『曾根崎心中』劇の展開覚書—宝暦十一年上演『おはつ徳兵衛曾根崎模様』まで	研究	諏訪春雄		新潟大学国文学会誌	1	①昭和31年12月 ④新潟大学 ③上演資料集〈271〉に拠る

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	世話悲劇の成立	研究	広末保		日本文学	第5巻12号	①昭和31年12月 ④未来社
	二 世話悲劇の成立 * 『曾根崎心中』における世話悲劇の方法 と、その成立条件				近松序説—近松悲 劇の研究— 増補近松序説—近 松悲劇の研究— 広末保著作集	第2巻近松 序説	①昭和32年4月（第1版） ④未来社 ①昭和38年9月（第2版） ④未来社 ①平成10年9月 ④影書房
	近松と法制 一 町次の判形 二 謀判似判	研究	前田金五郎		国文学 解釈と鑑 賞	第22巻1号	①昭和32年1月 ④至文堂 ③特集〈近松—理解のための基礎知識〉
	近松作品中の遊里 三 大阪北方の茶屋町		中村幸彦				③天満屋の所在地検証
	歌舞伎の近松劇をどう思うか 「曾根崎心中」	評論	池田弥三郎				③短文
	曾根崎心中	解説	高野正巳		演劇界	第15巻第13 号	①昭和32年11月 ④演劇出版社 ③増刊「歌舞伎狂言百科」Ⅱ
	「曾根崎心中」成立前夜一道行の詞章をめ ぐって—	研究	松田修		文芸と思想	16	①昭和33年10月 ④福岡女子大学文学部
	「曾根崎心中」観音廻り道行の構想	研究	角田一郎		国文学研究	第18輯（第 39号）	①昭和33年10月 ④早稲田大学国文学会
	近松の芸術	研究	広末保		日本文学史	第8巻 近世Ⅱ	①昭和33年11月 ④岩波書店
					前近代の可能性		①昭和35年2月 ④未来社
					増補近松序説—近 世悲劇の研究— 広末保著作集	第3巻 前近代 の可能 性	①昭和38年9月（第2版） ④未来社 ①平成9年8月 ④影書房
	曾根崎心中	史跡	吉永孝雄／三村幸 —写真		近松の世界		①昭和34年2月 ④朝日新聞社 ③アサヒ写真ブック88
	近松が描いた人間像 （五）—曾根崎心中—	研究	藤岡美智子		ふじ	第8号	①昭和34年3月 ④藤女子短期大学
	近松作品の悲劇の考察 （一）—曾根崎心中—		桑山則子				



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	名作の舞台 曾根崎心中	解説概 説	大西重孝・吉永孝 雄＝解説／三村幸 一＝写真		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③文楽座＝編
	資料紹介 「曾根崎心中十三年忌豊竹若太夫直伝」	資料	横山正		近松の研究と資料	第1	①昭和34年6月 ④演劇研究会 ③演劇研究会論文集一
	近松世話物の方法―「曾根崎心中」における 定型の確立―	研究	松田修		日本文学 日本近世文学の成 立	第8巻11号	①昭和34年11月 ④未来社 ①昭和38年11月 ④法政大学出版局 ③昭和47年8月新装版
	『曾根崎心中』の歌舞伎的基盤	研究	祐田善雄		島田教授古稀記念 国文学論集 浄瑠璃史論考		①昭和35年3月 ④関西大学国文学会 ①昭和50年8月 ④中央公論社
	『曾根崎心中』と辰松の手妻人形	研究	祐田義雄		山辺道 浄瑠璃史論考	第6号	①昭和35年3月 ④天理大学国文学研究室 ①昭和50年8月 ④中央公論社
	近松世話浄瑠璃の戯曲構造	研究	佐々木久春		文芸研究 近松文芸の研究	34	①昭和35年3月 ④日本文芸研究会（東北大学） ①平成11年2月 ④和泉書院 ③研究叢書234
	曾根崎心中	解説梗 概	高野正巳		演劇百科大事典 総合日本戯曲事典	第3巻	①昭和35年10月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表 ①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	近世浄瑠璃の成立	研究	祐田善雄		国文学 解釈と鑑 賞 浄瑠璃史論考	第26巻1号	①昭和36年1月 ④至文堂 ①昭和50年8月 ④中央公論社
	「曾根崎心中」の増補本について―「曾根崎 心中十三年忌」の意味するもの―	研究	横山正		学大国文	4	①昭和36年2月 ④大阪教育大学国語国文学研究室
	曾根崎心中と辰松八郎兵衛	研究	祐田善雄		日本演劇学会紀要	4	①昭和36年3月 ④日本演劇学会 ③研究発表の要旨

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	第一篇 段の研究 第二部 世話物 第一章 世話物の成立 ----- 第二章 三巻型式—近松世話浄瑠璃の形式—	研究	近石泰秋		操浄瑠璃の研究— その戯曲構成につ いて		①昭和36年3月 ④風間書房
	世話悲劇の成立 ----- 遊里と芝居 ----- 叙事詩の戯曲的發展 ----- 近世社会劇への到達	研究	藤野義雄		近松の世話悲劇		①昭和36年4月 ④碩学書房
	『曾根崎心中』の根本問題—近松における心 中評価— -----	研究	重友毅		法政大学文学部紀 要 ----- 近松の研究	第7号	①昭和37年3月 ④法政大学文学部 ----- ①昭和47年2月 ④文理書院 ③重友毅著作集3
	関西の焦点 文楽の話題・その後	劇評	北岸佑吉		演劇界	第20巻第9 号	①昭和37年8月 ④演劇出版社 ③昭和37年7月道頓堀文楽座所演
	曾根崎心中道行文の音韻技巧	研究	徳山健三		甲南大学文学会論 集	18	①昭和37年9月 ④甲南大学文学会
	『曾根崎心中』の意義—発生の世話浄瑠璃 として— -----	研究	原道生		近松論集 ----- 近松世話浄瑠璃の 作劇法	第1集	①昭和37年9月 ④近松の会 ----- ①平成25年11月 ④八木書店
	曾根崎心中をめぐる	研究	松崎仁		明日香		①昭和37年10月 ④明日香社 ③上演資料集〈271〉に拠る
	近松門左衛門という作家 5「曾根崎心中」	研究	吉永孝雄		浪花のれん		①昭和37年11月 ④KK産報 ③『吉永孝雄の私説昭和の文楽』（和泉書院・平 成7年5月刊）に拠る
	曾根崎初夢曾我・その他—曾根崎心中劇史	研究	土田衛		国語国文	第31巻第12 号	①昭和37年11月 ④中央図書出版社 ③京都大学文学部国語国文学研究室＝編
	先行歌舞伎狂言と近松世話浄瑠璃—世話浄瑠 璃の成立をめぐる—上・下— ----- 近松世話浄瑠璃と先行歌舞伎狂言	研究	諏訪春雄		国語と国文学 ----- 近松世話浄瑠璃の 研究	第40巻第 1・2号	①昭和38年1・2月 ④明治書院 ③東京大学国語国文学会＝編 ----- ①昭和49年4月 ④笠間書院

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	米屋心中の狂言と「曾根崎心中」	研究	松崎仁		国語と国文学	第40巻第5号	①昭和38年5月 ④明治書院 ③東京大学国語国文学会＝編
					近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
					元禄演劇研究		①昭和54年7月 ④東京大学出版会
	近松世話浄瑠璃の方法―複眼的方法の確立―	研究	諏訪春雄		日本文学	第12巻6号	①昭和38年6月 ④未来社
	近松世話浄瑠璃の評価の問題―松田修氏の論考に触れながら―		原道生		近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
					近松世話浄瑠璃の作劇法		①平成25年11月 ④八木書店
	「曾根崎心中」成立の浄瑠璃的諸要因	研究	横山正		近松の研究と資料	第2	①昭和38年8月 ④演劇研究会 ③演劇研究会論文集二
	「曾根崎心中」の諸本		山本とも子				
	近松世話道行の構造ノート―曾根崎心中からの発展―		角田一郎				
	年忌追善浄瑠璃についての一考察―「曾根崎心中」を中心に―		馬場憲二				
	曾根崎三年忌の浄瑠璃「天満屋心中」覚え書―曾根崎心中影響の一齣		景山正隆				
	近松劇について		ドナルド・キーン ／金関寿夫＝訳				
	そねさき心中さいもん	翻刻					③山村太郎に拠る解説付載
	「曾根崎心中」の構成とその変貌	研究	松平進		近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
	世話浄瑠璃と世話狂言―方法論の為の覚え書―	研究	諏訪春雄		近松の研究と資料	第2	①昭和38年8月 ④演劇研究会 ③演劇研究会論文集二
					近松世話浄瑠璃の研究		①昭和49年4月 ④笠間書院

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
257、 432、550	「曾根崎心中」の復活上演	演出	吉永孝雄		近松の研究と資料	第2	①昭和38年8月 ④演劇研究会 ③演劇研究会論文集二
	Ⅲ 新作・復曲と演出 * 『曾根崎心中』				吉永孝雄の私説昭和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究叢書2
	お初天神	史跡	牧村史陽		朝日座筋書		①昭和38年9月 ④文楽協会
	関西の焦点 半歳めの文楽	劇評	北岸佑吉		演劇界	第21巻第10号	①昭和38年10月 ④演劇出版社 ③昭和38年9月朝日座所演（短評）
	浄瑠璃の文体 第一節 浄瑠璃の序詞 Ⅱ 近松・海音時代及びその後の浄瑠璃の序詞 (イ) 「曾根崎心中」の序詞	研究	横山正		浄瑠璃操芝居の研究—浄瑠璃における近世的性格を中心として—		①昭和38年12月 ④風間書房
	浄瑠璃に於ける趣向と描写の問題 第三節 近松世話物の展開 Ⅰ 心中浄瑠璃						
	曾根崎心中の根本問題、近松における心中評価	研究	重友毅		近世文学史の諸問題		①昭和38年12月 ④明治書院
	『曾根崎心中』道行の構成	研究	祐田善雄		山辺道	第10号	①昭和39年1月 ④天理大学国文学研究室
					浄瑠璃史論考		①昭和50年8月 ④中央公論社
	『曾根崎心中』に於ける悲劇の成立条件	研究	上村福子		国文学ノート	1号	①昭和39年3月 ④成城大学短期大学部国文研究室
	「曾根崎心中」と「生玉心中」	研究	村田穆		立命館文学	231	①昭和39年9月 ④立命館大学人文学会
	作品鑑賞 曾根崎心中	鑑賞	高野正巳		近松とその伝統芸能		①昭和40年6月 ④講談社
	近世浄瑠璃の形成	研究	祐田善雄		天理大学学報	第51輯	①昭和41年3月 ④天理大学人文学会
					浄瑠璃史論考		①昭和50年8月 ②中央公論社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	大坂三十三所観音めぐり（一）（二）	参考	松平進		演劇研究会会報	第1～2号	①昭和41年3月・11月 ④演劇研究会
	文楽の身振り	演出	ドナルド・キーン ／吉田健一＝訳／ 金子弘＝撮影		文楽		①昭和41年6月 ④講談社 ③限定出版。大型本。写真集。フォノシート付録。
能・文楽・歌舞伎						①平成13年5月 ④講談社 ③講談社学術文庫	
ドナルド・キーン 著作集					第6巻 能・文楽・ 歌舞伎	①平成25年1月 ④新潮社	
	あなたも古書が読める14—近松門左衛門の浄瑠璃「世継曾我」「曾根崎心中」—	テキスト	檜谷昭彦		国文学 解釈と鑑賞	第32巻2号	①昭和42年2月 ④至文堂
	近松の浄瑠璃詞章に引用された和歌と謡曲— 冥途の飛脚と曾根崎心中から—	参考	松沢智里		文学論藻	第35号	①昭和42年3月 ④東洋大学国語国文学会
	特集・初等近松読本 * 近松物の味わい方	鑑賞	内山美樹子		演劇界	第25巻第4 号	①昭和42年4月 ④演劇出版社
	* 近松作品案内 曾根崎心中	解説	編集部＝編				
224	曾根崎心中の上演と辰松八郎兵衛	研究	鶴見誠		白百合大学女子大 学研究紀要	第3号	①昭和42年12月 ④白百合女子大学
					近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
	資料紹介 「曾根崎心中—竹本義太夫の正本」	正本研 究	渋井清		芸文研究	24	①昭和42年12月 ④慶応義塾大学芸文学会
	「曾根崎心中」前後	研究	諏訪春雄		東書高校通信国語	61	①昭和43年2月 ④東京書籍

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松、人と美学	研究	祐田善雄		國文學 解釈と教材の研究	第13巻第4号	①昭和43年3月 ④學燈社 ③特集〈芭蕉・近松・西鶴〉
					近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書。『国文学 解釈と鑑賞』掲載論文を一部補綴
	文楽の芸術 * 近松物の復活	記録	大西重孝		文楽人形の芸術		①昭和43年5月 ④演劇出版社
	* テレビと新作						③NHKで一人遣いを観音廻りで再現
	文楽講座・6 義太夫節の歴史 「曾根崎心中」と中入り	解説	祐田義雄		国立劇場文楽公演 解説書	第7回	①昭和43年6月 ④国立劇場
	「動」のバリ「静」のベルリン ●文楽欧州公演だより	記録	今井昌彦				③昭和43年4・5月渡欧公演
257	ヨーロッパで大好評の曾根崎心中	劇評記録			朝日座筋書		①昭和45年7月 ④文楽協会 ③昭和43年4・5月文楽渡欧公演
	たのませるといふこと	劇評	安藤鶴夫		演劇界	第26巻第8号	①昭和43年8月 ④演劇出版社 ③昭和43年7月東京国立劇場小劇場所演
	文楽「曾根崎心中」をめぐる 門Ⅲ	批評	笠原伸夫		美と悪の伝統		①昭和44年9月 ②桜楓社 ③昭和43年7月東京国立劇場小劇場所演の劇評と作品評
	死と愛―「曾根崎心中」を支えるもの―	研究	佐々木久春		研究紀要	4	①昭和43年9月 ④秋田工業高等専門学校
					近松文芸の研究		①平成11年2月 ④和泉書院 ③研究叢書234
55、70、 125、188	解題	研究	藤野義雄		曾根崎心中 解釈と研究		①昭和43年10月 ④桜楓社
550	恋のメルヘン―お初徳兵衛―	鑑賞	諏訪春雄		愛と死の伝承―近世恋愛譚―		①昭和43年12月 ④角川書店 ③角川選書10
					別冊歴史読本 江戸の心中	第20巻第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松世話浄瑠璃の方法 — 心中物を中心として —	研究	信多純一		帝塚山演劇学	第2巻第1号	①昭和44年5月 ④帝塚山大学演劇学研究室
					近松の世界		①平成3年7月 ④平凡社
	資料紹介 豊竹若太夫系「曾根崎心中」正本	研究	諏訪春雄		演劇研究会会報	第6・7号 (合併号)	①昭和44年7月 ④演劇研究会
	心中道行のドラマトルギー・近松門左衛門 II	研究	笠原伸夫		美と悪の伝統		①昭和44年9月 ④桜楓社
					別冊歴史読本 江戸の心中	第20巻第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社
	相対死—その中に見る義理— 道行の詞章	研究	諏訪春雄 藤井康雄		季刊歌舞伎	第7号	①昭和45年1月 ④松竹株式会社演劇部 ③特集〈近松の世話狂言〉
	注釈の原点 —『曾根崎心中』の場合—	研究	今尾哲也		文学	38	①昭和45年4月 ④岩波書店
					近松		①昭和51年3月 ④有精堂出版 ③日本文学研究資料叢書
	近松の「曾根崎心中」について—その成立の 背景と問題点	研究	広瀬朝光		文芸研究	第64集	①昭和45年6月 ④東北大学文学部内日本文芸研究会
	大阪公演の「曾根崎心中」	批評	祐田義雄		国立劇場文楽公演 解説書	第15回	①昭和45年9月 ④国立劇場事業部
55	風俗備要抄（曾根崎心中）	注釈	長田午狂＝編		国立劇場上演資料 集	55	①昭和45年9月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室
	元禄・近松・現代	考察	郡司正勝		国文学 解釈と鑑賞	第35巻12号	①昭和45年10月 ④至文堂 ③特集〈現代に生きる近松の文学と舞台〉。昭和 42年夏・ロンドンのオールド・ビッチでの「曾根 崎心中」ほか
	近松作品の事実と虚構 * 曾根崎心中	研究	松崎仁				
	舞台芸能鑑賞の手引 * 文楽の鑑賞のために	鑑賞	吉永孝雄				③昭和30年「曾根崎心中」復活時の演出の問題点
	近松演劇美への視点 * 人形舞台の変遷—人形操法との関係— * 近松浄瑠璃の戯曲作法—世話浄瑠璃の構造	研究	角田一郎 諏訪春雄				
	第三部 世界と方位 第十二章 近松世話浄瑠璃の構造				近松世話浄瑠璃の 研究		①昭和49年4月 ④笠間書院

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松演劇美への視点 * 音曲の文体から見た近松	研究	祐田善雄		国文学 解釈と鑑賞	第35巻12号	①昭和45年10月 ④至文堂 ③特集〈現代に生きる近松の文学と舞台〉
					浄瑠璃史論考		①昭和50年8月 ④中央公論社
	文楽講座・6 片手人形	演出	祐田善雄		国立劇場文楽公演 解説書	第16回	①昭和45年11月 ④国立劇場事業部
	「曾根崎心中」演出上の疑問	研究	鶴見誠		国文白百合	2号	①昭和46年3月 ④白百合女子大学国語国文学会
	死の禁忌の舞台化—近松の「観音廻り」を中 心に—	研究	広末保		文学	39	①昭和46年5月 ④岩波書店
	死と蘇生—『曾根崎心中』の「観音廻り」				辺界の悪所		①昭和48年11月 ④平凡社
					広末保著作集	第2巻近松 序説	①平成10年9月 ④影書房
	若手盛り立てる先輩	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和46年9月東京国立劇場小劇場所演（短評）。 初出＝「読売新聞」昭和46年9月14日
	近松浄瑠璃の死と鎮魂	研究	笠原伸夫		國文學 解釈と教 材の研究	第16巻11号	①昭和46年9月 ④學燈社 ③特集〈生と死のドラマ 近松と南北〉
	曾根崎心中	現代語 訳	宇野信夫＝訳		近松門左衛門		①昭和47年3月 ④河出書房新社 ③日本の古典19。解説（山崎正和）・解題（今尾 哲也）・年譜（河竹登志夫）・註釈（池田弥三 郎）付載
					近松名作集		①昭和63年4月 ④河出書房新社 ③日本古典文庫18（新装版）。註釈（池田弥三 郎）・年譜（河竹登志夫）・解説（山崎正和）付 載
					現代語訳 曾根崎 心中		①平成20年1月 ④河出書房新社 ③河出文庫註釈（池田弥三郎）付載
	近松世話物の方法	研究	松田修		新版日本近世文学 の成立—異端の系 譜—		①昭和47年8月 ④法政大学出版局



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の風土1 「曾根崎心中」	鑑賞	吉永孝雄		大阪	80	①昭和47年11月 ④大阪府観光連盟
	曾根崎心中考	研究	栗山歌寿子		帝塚山学院大学日 本文学研究	第5号	①昭和48年1月 ④帝塚山学院大学日本文学会
	お初と徳兵衛	書下ろ し	小田嶽夫		恋に滅びた人び と—近松の名作か ら—		①昭和48年2月 ④読売新聞社
	「曾根崎心中」の一本 —国立台湾大学蔵・横本「曾根崎心中」—	研究	鳥居フミ子		実践国文学	3	①昭和48年3月 ④実践国文学会
	おどり地図 〈上方—曾根崎〉近松の曾根崎界限	史跡	新谷誠太郎		舞踊とくぼん	第1集第9号	①昭和48年4月 ④新芸能新聞社
	近松浄るりと三重・ラクリ	研究	祐田善雄		国語国文	第42巻第6 号	①昭和48年6月 ④京都大学文学部国語学国文学研究室
					浄瑠璃史論考		①昭和50年8月 ②中央公論社
	「曾根崎心中」考—お初像を中心として	研究	高橋紀子		目白学園女子短期 大学研究紀要	10	①昭和48年12月 ④目白学園女子短期大学
	復権する近松への証言—近松作品の上演記録 と演出論—	批評	吉永孝雄		上方芸能	33号	①昭和49年1月 ④上方落語をきく会 ③特集〈われらのための近松〉
	明治以降の上演記録	記録					
	Ⅲ 新作・復曲 * 『曾根崎心中』 * 《コラム》近松物復曲上演記録	批評記 録			吉永孝雄の私説昭 和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	二章 色彩の調和 定式舞台と衣裳の美 曾根崎心中	演出	吉永孝雄		カラー文楽の魅力		①昭和49年1月 ④淡交社 ③三村幸一＝写真
	四章 近松の世界 近松門左衛門という作家 曾根崎心中	解説梗 概					
	『曾根崎心中』と「聖衆来迎会」	研究	沙加戸弘		滋賀大國文	11～12	①昭和49年1月・11月 ④滋賀大國文会
	近松の始発—『曾根崎心中』の成立—	研究	生井武世		同志社国文学	9	①昭和49年2月 ④同志社大学国文学会
	『曾根崎心中』の「救い」について	研究	藤田勢津子		古典研究	第6号	①昭和49年3月 ④ノートルダム清心女子大学国文学研究室

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	実説と虚構 1 曾根崎心中	研究	諏訪春雄		近松世話浄瑠璃の 研究		①昭和49年4月 ④笠間書院
	世話浄瑠璃と世話狂言 * 1 複眼的方法						
	豊竹若太夫正本「曾根崎心中」						
	人物日本舞踊史 (13) 近松門左衛門	解説梗概	邦楯男		舞踊読本	第2集第3号	①昭和49年5月 ④新芸能新聞社
	拍手！また拍手・大成功の渡欧公演	記録劇評	今井昌彦		朝日座筋書		①昭和49年7月 ④文楽協会 ③昭和49年5～7月の渡欧公演
	関西劇信 二人の沖田総司と文楽帰朝公演	劇評	北岸佑吉		演劇界	第32巻第10号	①昭和49年9月 ④演劇出版社 ③昭和49年7月朝日座所演（短評）
	近松浄瑠璃の基調 * 世話悲劇の成立と変貌—歌舞伎とのかかわりから * 道行の構造と劇的情念—近松の激情	研究	土田衛		国文学 解釈と鑑賞	第39巻11号	①昭和49年9月 ④至文堂 ③特集〈近松—近世悲劇の原像〉
	近松悲劇の方法 * 語り形式と悲劇の構想力 * 複眼的方法の生成		桶谷秀昭 今尾哲也				
	「曾根崎心中」道行		諏訪春雄				
	近松悲劇の内質 * 巷説から悲劇への晶化 作品分析—新しい視座から 「曾根崎心中」	本文 研究	笠原伸夫				③「曾根崎心中」と「お初天神記」 ③「曾根崎心中」と「生玉心中」の比較
	「曾根崎心中」について 「曾根崎心中」に心中する		横山正				
	近松悲劇の内質 * 心中のドラマツルギー	研究	篠田正浩		別冊歴史読本 江戸の心中	第20巻第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社
	「曾根崎心中」の悲劇性	研究	川崎毓男		日本文芸研究	第26巻第4号	①昭和49年12月 ④関西学院大学日本文学会
	人形つかい * 人形芝居	解説	中西敬二郎		文楽への道		①昭和50年1月 ④早稲田大学出版部 ③「曾根崎心中」の初演
	* 劇場と舞台	考察					③「曾根崎心中辰松八郎兵衛口上」の図について
	近松初期心中物の方法—際物として見る視覚から—	研究	生井武世		同志社国文学	10	①昭和50年2月 ④同志社大学国文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	曾根崎心中	現代語 訳	水上勉		グラフィック版 心中天網島		①昭和50年3月 ④世界文化社 ③日本の古典12。『心中天網島』『女殺油地獄』『堀川波鼓』『近松の女たち』、「近松の文学と節付け」（内山美樹子）、「心中の季節」（諏訪春雄）、「解説 近松の出自と作力」（郡司正勝）、地図「元禄時代の大坂」・図版目録・文楽小事典付載
	歌舞伎の意匠 曾根崎心中の道ゆき	随想	水上勉		國文學 解釈と教 材の研究	第20巻8号	①昭和50年6月 ④學燈社 ③6月臨時増刊、特集「歌舞伎—バロキスムの光と影」
	『曾根崎心中』の価値 —その仏教的人間観にふれて—	研究	千葉篤		文学研究	41	①昭和50年7月 ④日本文学研究会
	連載・舞台再訪（十） 近松門左衛門『曾根崎心中』	随想	山崎成子		Chamber	281	①昭和50年7月 ④大阪商工会議所
	『曾根崎心中—観音廻り』考—その成立・性 格をめぐっての—考察—	研究	馬場憲二		大阪教育大学附属 高等学校池田校舎 研究紀要	8	①昭和50年9月 ④大阪教育大学附属高等学校池田校舎
	死の道行	研究	原道生		鑑賞日本古典文学 別冊歴史読本 江 戸の心中 近松世話浄瑠璃の 作劇法	29近松 第20巻第46 号	①昭和50年10月 ④角川書店 ①平成7年11月 ④新人物往来社 ①平成25年11月 ④八木書店
	野澤松之輔 古典の良さを生かす	芸談	吉田留三郎	野澤松之輔	人生万ざい		①昭和50年11月 ④朝日新聞社
	近松の世話物の意義と作劇法	研究	森修		人文研究 近松と浄瑠璃	第27巻第9 分冊 国 語・国文	①昭和50年12月 ④大阪市立大学文学部 ①平成2年2月 ④塙書房
	世話物に見る近松の描いた女性達	研究	高橋紀子		目白学園女子短期 大学研究紀要	第12号	①昭和50年12月 ④目白学園女子短期大学
	津大夫の気迫	劇評	福本和生		演劇界	第34巻第5 号	①昭和51年5月 ④演劇出版社 ③昭和51年3月東京国立劇場小劇場所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	お初観音めぐり論	座談会	土田衛	松崎仁・広末保・原道生・土田衛・信多純一・諏訪春雄	近松		①昭和51年7月 ④学生社 ③シンポジウム日本文学7。脚注付載
	「曾根崎心中」の文体比較―筑後掾本と加賀掾本―	研究	山根為雄		近世文芸	25・26（合併号）	①昭和51年8月 ④日本近世文学会
	近松「曾根崎心中」の世界	研究	有川恵穂		日本文芸研究	第28巻第4号	①昭和51年12月 ④関西学院大学日本文学会
	近松の観音信仰について 『曾根崎心中』の「観音廻り」を中心として	研究	滝口洋		日本文学論叢	20	①昭和52年3月 ④茨城キリスト教短期大学 ③上演資料集〈357〉に拠る
	近松の観音廻り道行をめぐって	研究	須山章信		帝塚山短期大学紀要 人文・社会科学編	14	①昭和52年4月 ④帝塚山短期大学
	お初―『曾根崎心中』	評論	水上勉		近松物語の女たち		①昭和52年5月 ④中央公論社 ③雑誌「ミセス」に昭和50年1月～昭和51年12月間に連載の一部
	文楽名作鑑賞 曾根崎心中	解説梗概	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ
					文楽		①平成2年1月 ④ぎょうせい ③伝統芸能シリーズ3。『文楽入門』の改訂版
	近松世話浄瑠璃の起点―序にかえて―	研究	井口洋		曾根崎心中・冥途の飛脚・他五篇		①昭和52年9月 ④岩波書店 ③岩波文庫
					近松世話浄瑠璃論		①昭和61年3月 ④和泉書院
	曾根崎心中―語彙索引作成のために	翻刻解説	坂梨隆三		茨城大学人文学部紀要人文学科論集	第11号	①昭和53年2月 ④茨城大学人文学部
	「観音廻り」のお初―出現のドラマ	研究	広末保		月刊百科	No.186	①昭和53年3月 ④平凡社
					広末保著作集	第2巻 近松序説	①平成10年9月 ④影書房

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽の「曾根崎心中」の舞台一天満屋の段・お初徳兵エ心中道行一	研究	吉永孝雄		甲南国文	25	①昭和53年3月 ④甲南女子大学国文学会
	特集・近松の世話物 * 心中六話 世話狂言の心中物 謡曲化された『曾根崎心中』	考察	諏訪春雄		演劇界	第36巻第4号	①昭和53年4月 ④演劇出版社
	* 作品背景の大阪の世相	参考	牧村史陽				
	* 近松世話物名曲二十選 お初の覚悟 曾根崎心中	解説	編集部				
	ウタとカタリー曾根崎心中一	評論	富岡多恵子		近松浄瑠璃私考		①昭和54年1月 ④筑摩書房 ③筑摩文庫。「文芸展望」17~21号（昭和52年春~昭和53年春）に連載したもの
	曾根崎心中の「は」と「わ」一その仮名遣と仮名の字体について一	研究	坂梨隆三		茨城大学人文学部 紀要人文学科論集	第12号	①昭和54年3月 ④茨城大学人文学部
	近松の在所	随筆	水上勉		国立劇場文楽公演 解説書	第52回	①昭和55年2月 ④国立劇場
					文案の魅力		①昭和57年2月 ④第一法規出版 ③国立劇場=監修
	謡本「曾根崎心中道行」（仮題）二葉について一浄瑠璃本の出版（その一）一	研究	大橋正叔		山辺道	第24号	①昭和55年3月 ④天理大学国語国文学会
	三 近松の世話浄瑠璃 1 世話物の構成と展開 I 心中物	研究	藤野義雄		近松と最盛期の浄瑠璃		①昭和55年4月 ④桜楓社
	第7章 元禄文化 『葉隠』と「曾根崎心中」	研究	加藤周一		日本文学史序説	下	①昭和55年4月 ④筑摩書房 ③上演資料集〈271〉に拠る
	浄瑠璃史論稿(8)~(10) (六) 近松表現史Ⅱ『曾根崎心中』論1・2・3	研究	青木正次		国文学雑誌	26~28	①昭和55年8月・昭和56年3月・8月 ④藤女子短期大学国語国文学会
	実録・曾根崎心中	参考	藤本義一・脇田修		歴史への招待	10	①昭和55年12月 ④日本放送出版協会
	「曾根崎心中」の正本について	研究	山根為雄		芸能史研究	72	①昭和56年1月 ④芸能史研究会
	『曾根崎心中』について	研究	甲斐正伸		中世近世文学研究	14	①昭和56年1月 ④中世近世文学研究会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	人形の型⑩ 「腕まくり」	演出	(I)		国立劇場文楽公演 解説書	第56回	①昭和56年2月 ④国立劇場事業部 ③九平次の型
	近松世話浄るりの主人公たち	解説	向井芳樹				
	鑑賞ガイド	鑑賞	戸部銀作				
	狂言豆知識 * 大阪の遊廓と遊女の階級 * 大阪の遊廓の掟 * 商家の奉公人の身分構成	参考	(午)				
	失われたもの	随筆	澤野久雄		文楽の魅力		①昭和57年2月 ④第一法規出版 ③国立劇場＝監修
	近松世話物三部制	劇評	桜井弘		演劇界	第39巻第4号	①昭和56年4月 ④演劇出版社 ③昭和56年2月東京国立劇場小劇場所演
	忘れ難い技芸の人 十年の歳月の彼方に文楽の伝統を受け継いで 初世野沢松之輔	評伝	吉永孝雄		上方芸能	69号	①昭和56年2月 ④『上方芸能』編集部
	Ⅲ 新作・復曲と演出 * 『曾根崎心中』				吉永孝雄の私説昭 和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	近松の世話浄瑠璃—その悲劇性の考察—	研究	諏訪春雄		学習院大学文学部 研究年報	第27輯	①昭和56年3月 ④学習院大学文学部
					近世芸能史論	第2部近松	①昭和60年10月 ④笠間書院
531	演者が語る義太夫鑑賞の手引き (7) 曾根崎心中一天満屋の段	芸談		《9》竹本文 字大夫 (《7》竹本 住大夫)	邦楽と舞踊	第32巻3号	①昭和56年3月 ④邦楽と舞踊出版社
	曾根崎心中索引稿	索引	末永綾子・植田百 合子・仲美佐恵・ 中野淳子＝編		和歌山大学教育学 部国語科教室		①昭和56年3月 ④和歌山大学
	「曾根崎心中」における表現の世界 —「観 音めぐり」からみた構造—	研究	佐藤彰		日本文学	第30巻7号	①昭和56年7月 ④日本文学協会 ③特集〈近松世話浄瑠璃〉
	視点 「曾根崎心中」「観音めぐり」の復活	参考	向井芳樹		同志社国文学	第19号	①昭和56年10月 ④同志社大学国文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松十二選 曾根崎心中	鑑賞	諏訪春雄		演劇界	第39巻第13号	①昭和56年11月 ④演劇出版社
					近世芸能史論	第2部近松	①昭和60年10月 ④笠間書院
	「曾根崎心中」の「心中道行文」	研究	平田澄子		日本文学	第30巻第11号	①昭和56年11月 ④日本文学協会
					近松浄瑠璃の成立と展開		①平成22年3月 ④新典社 ③新典社研究叢書208
	『切上るり曾根崎心中』の成立について	研究	信多純一		語文	第39輯	①昭和56年12月 ④文進堂 ③大阪大学国文研究室＝編輯
					近松の世界		①平成3年7月 ④平凡社
	映像心中	随想	栗崎碧		朝日座筋書		①昭和57年1月 ④文楽協会
	文楽劇信 盛りあがらない正月公演	劇評	桜井弘		演劇界	第40巻第2号	①昭和57年2月 ④演劇出版社 ③昭和57年1月朝日座所演（短評）
	文楽一その系譜と流れ一竹本義太夫（竹本座）・近松門左衛門	解説	森晋六		文楽の魅力		①昭和57年2月 ④第一法規出版 ③国立劇場＝監修
	曾根崎心中	解説研究	原道生		鑑賞日本の古典	16近松集	①昭和57年4月 ④尚学図書 ③作品解説、本文・口語訳・注釈等、参考文献解題・近松世話浄瑠璃登場人物一覧、近松略年譜付載
	「曾根崎心中」について	参考	増村保造（映画監督）		悲劇喜劇	第35巻第8号	①昭和57年8月 ④早川書房 ③特集〈近松門左衛門〉
	心中嫌い	随想	田中澄江				
	近松門左衛門曾根崎心中の〈お初〉愛に殉ずる女	解説	鳥居フミ子		國文學 解釈と教材の研究	第27巻13号	①昭和57年9月 ④學燈社 ③特集「古典の中の女・一〇〇人」
	『曾根崎心中』の悲劇的本質	研究	北村貫志		日本文芸研究	第34巻第4号	①昭和57年12月 ④関西学院大学日本文学会
	インタビュー 吉田簀助この一年	芸談	小倉つね子	《3》吉田簀助	文楽	第1号	①昭和58年2月 ④「文楽」編集部

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松の女性	研究	鳥居フミ子		日本文学	第59号	①昭和58年3月 ④東京女子大学学会日本文学部会
	曾根崎心中	解説	諏訪春雄		劇文学		①昭和58年12月 ④明治書院 ③研究資料日本古典文学第10巻。「概括」「成立 および概観」「梗概」「意義」「諸本・翻刻」 「参考文献」「研究の動向」「本文(部分)」よ り成る
	鑑賞ガイド	鑑賞	岡田聰		国立劇場文楽公演 解説書	第68回	①昭和59年2月 ④国立劇場事業部
	近松時代の大阪	地図					
	説得力ある「天網島」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演(短評)。 初出＝「読売新聞」昭和59年2月22日
	実り薄い近松再演	劇評	富岡泰		演劇界	第42巻第4 号	①昭和59年4月 ③演劇出版社 ④昭和59年2月東京国立劇場小劇場所演(短評)
	道行の美学	研究	河竹登志夫		日本の美学	創刊号	①昭和59年5月 ④ペリかん社
	一代男と曾根崎心中 * 徂徠の心をうった曾根崎心中	研究	児玉幸多		元禄時代	日本の歴史 16	①昭和59年5月 ④中央公論社 ③上演資料集〈261〉に拠る
	現代に生きて輝く近松の名作	鑑賞	藤野義雄		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第3回	①昭和59年7月 ④国立劇場
	竹本座三百年の夢の跡		高木浩志				
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結莊哲治				
	情感たかめる心配り 玉男、襄助が語る「お 初、徳兵衛」	芸談	川崎一朗	《1》吉田玉 男・《3》吉 田襄助			
550	曾根崎心中	解説 梗概	原道生		日本古典文学大辞 典	第4巻	①昭和59年7月 ④岩波書店
	文楽劇信 「獅子が城」と「天満屋」の差	劇評	富岡泰		演劇界	第42巻第10 号	①昭和59年9月 ④演劇出版社 ③昭和59年7月国立文楽劇場所演



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	八四年の文楽	劇評	内山美樹子		演劇年報	一九八五年 版	①昭和60年5月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年7月国立文楽劇場所演（短評）
	一九八四年の文楽				文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和59年7月国立文楽劇場所演（短評）。初出＝ 『演劇年報』一九八五年版
	心中を斬る —心中物心中に—	随想	田中澄江		近松門左衛門とい う人		①昭和59年10月 ④日本放送出版協会
	『曾根崎心中』の方法—「女のドラマ」の発 見—	研究	向井芳樹		同志社国文学	第25号	①昭和59年12月 ④同志社大学国文学会
	「曾根崎心中」の四つの意義	研究	大山功		芸能	第26巻第12 号	①昭和59年12月 ④芸能学発行所
	2 劇として * 近松世話浄瑠璃の劇空間	研究	原道生		國文學 解釈と教 材の研究	第30巻第2 号	①昭和60年2月 ④學燈社
					近松世話浄瑠璃の 作劇法		①平成25年11月 ④八木書店
	2 劇として 近松における都市の発見	研究	海野弘		國文學 解釈と教 材の研究	第30巻第2 号	①昭和60年2月 ④學燈社 ③特集〈近松・語りの世界劇場〉
257、531	3 近松を遡る 近松浄瑠璃はどのように上演されたか—『曾 根崎心中』の音楽・人形・舞台構造—		角田一郎				
257、488	4 近松を見る 文楽舞台鑑賞・曾根崎心中	演出梗 概	古谷忠弘				③梗概「天満屋の段・天神森の段」本文と人形の 演出
	近松を考える—研究の現在と展望	対談		広末保・信 多純一			
					近松の世界		①平成3年7月 ④平凡社
	心中とは何か—近松心中劇の記号論的考察	研究	篠田浩一郎		國文學 解釈と教 材の研究	第30巻第2 号	①昭和60年2月 ②學燈社 ③特集〈近松・語りの世界劇場〉
					別冊歴史読本 江 戸の心中	第20巻第46 号	①平成7年11月 ④新人物往来社
	「曾根崎心中」の道行について	研究	熊野晴子		城南国文	5	①昭和60年2月 ④大阪城南女子短期大学国語国文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	これからの文楽 曾根崎心中	記録		《5》吉田文吾	文楽	第3号	①昭和60年2月 ④「文楽」編集部 ③昭和59年8月2日大阪青年会議所主催「これからの文楽」公演（国立文楽劇場小ホール）について
	文楽の名作 65商人の面目・遊女の純愛『曾根崎心中』お初徳兵衛	鑑賞	権藤芳一		文楽の世界		①昭和60年6月 ④講談社
	『曾根崎心中十三年忌』の絵尽について	研究	横山正		語文研究	59	①昭和60年6月 ④九州大学国語国文学会
	『曾根崎心中』論一成立と構想一	研究	白倉一由		近松の浄瑠璃		①昭和60年8月 ④近代文芸社 ③口語訳・註釈・近松略年譜付載
	曾根崎心中 お初徳兵衛生玉の社、天満屋	書下ろし	高野正巳		近松の女人四季		①昭和60年10月 ④赤坂書院
	『曾根崎心中十三年忌』の絵尽について・補正	研究	横山正		語文研究	60	①昭和60年12月 ④九州大学国語国文学会
	吉田玉男この一年	芸談		《1》吉田玉男	文楽	第4号	①昭和61年2月 ④「文楽」編集部
	こんな文楽いかがですか ハワイ公演報告記	記録		《5》豊竹呂大夫			
	曾根崎心中	書下ろし	田中澄江＝訳／創 美社＝編集		田中澄江の心中天の網島		①昭和61年3月 ④集英社 ③わたしの古典17。語注・鑑賞・「わたくしと近松」・解説（内山美樹子）・参考図（穂積和夫）付載
	『曾根崎心中』と『心中天網島』の間	研究	首藤裕子		愛知女子短期大学 国語国文	第2号	①昭和61年3月 ④愛知女子短期大学
	『曾根崎心中』以後の近松の模索（一） （二）	研究	西尾邦夫		国文学論叢輯	7・8	①昭和61年3月・昭和62年3月 ④国士舘大学国文学会
	鼎談 今、近松を演じて	芸談		《5》竹本織大夫（《9》竹本源太夫）・《2》中村扇雀（《4》坂田藤十郎）・水落潔	演劇界	第44巻第8号	①昭和61年7月 ④演劇出版社 ③臨時増刊号〈近松門左衛門の世界〉
	鑑賞 曾根崎心中	鑑賞	藤野義雄				
	曾根崎心中	解説	吉永孝雄				
	愛と死の讃歌—近松の詞章	研究	諏訪春雄				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	新作物と近松作品の復曲を目指して	芸談	田結莊哲治	《2》吉田玉 五郎	文楽 人形の魅力		①昭和61年8月 ④大阪書籍 ③朝日カルチャーブックス66
	歌舞伎の敵役と浄瑠璃の敵役 —近松世話物 を中心として—	研究	須藤のぶ子		解釈	380	①昭和61年11月 ④教育出版センター新社 ③解釈学会＝編
	曾根崎心中	索引	近世文学総索引編 纂委員		近世文学総索引 近松門左衛門	第1巻	①昭和61年11月 ④教育社 ③表記索引
257	「曾根崎心中」初演の時の出演者	演者			国立劇場上演資料 集	257	①昭和61年12月 ④国立劇場芸能調査室 ③石割松太郎・秋葉芳美執筆『日本人名大事典』 第4巻・第6巻（平凡社・昭和12年12月・13年10月 刊）より
257	「曾根崎心中」復活上演（昭和30年11月西ツ 橋文楽座所演）に対する劇評	劇評					③大阪新聞評（三宅周太郎）、大阪毎日新聞評、 毎日新聞評、朝日新聞評、「文楽二座評」（升屋 治三郎・『幕間』昭和30年2月号）、「新春・二派 文楽の競演」（大西重孝・『演劇界』昭和30年2月 号）より
	文楽鑑賞教室「曾根崎心中」	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き—劇評と 文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和61年12月東京国立劇場小劇場所演。初出＝ 「読売新聞」昭和61年12月17日
	桐竹紋寿・吉田文吾リサイタル	記録 芸談		桐竹紋寿・ 《5》吉田文 吾	文楽	第5号	①昭和62年2月 ④文楽編集部 ③昭和61年10月20日「古典とロック」公演（国立 文楽劇場）について
	『曾根崎心中』三本立	劇評	富岡泰		演劇界	第45巻第2 号	①昭和62年2月 ④演劇出版社 ③昭和61年12月東京国立劇場小劇場所演
	九平次の設定 —『卯月九日其の暁の明星が 茶屋』との関係—	研究	原道生		日本文学	第36巻第2 号	①昭和62年2月 ④日本文学協会
					近松世話浄瑠璃の 作劇法		①平成25年11月 ④八木書店
	曾根崎心中「近松門左衛門」足で伝える必死 の覚悟	テキスト	諏訪春雄		國文學 解釈と教 材の研究	第32巻4号	①昭和62年3月 ④學燈社 ③3月臨時増刊号〈日本の古典名文名場面100 選〉。「天満屋の段」（部分）の原文・現代語 訳・論評

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松とシェークスピア『曾根崎心中』と『ロミオとジュリエット』の共通性一	研究	森田喜郎		日本近世文学論		①昭和62年3月 ④和泉書院 ③和泉選書29
	狂言豆知識 * 実際の心中事件 * 舞台の『曾根崎心中』	史実 参考	津田類		国立劇場歌舞伎公演解説書	第143回	①昭和62年4月 ④国立劇場
					国立文楽劇場歌舞伎公演解説書	第2回	①昭和62年4月 ④国立劇場
	人形浄瑠璃の劇空間一『曾根崎心中』覚書一	研究	日暮聖		日本の文学	第1集	①昭和62年4月 ④有精堂出版
	竹人形文楽 曾根崎心中	参考写真	若洲竹人形座		竹人形文楽 曾根崎心中		①昭和62年6月 ④若洲一滴文庫、くるま椅子劇場設立委員会、立風書房 ③近松門左衛門＝原作、水上勉＝脚本、大塚清吾＝写真
	充実した鑑賞教室	劇評	森西真弓		演劇界	第45巻第8号	①昭和62年7月 ④演劇出版社 ③昭和62年6月国立文楽劇場所演
	上方の四季・人改浪花区名	随筆	豊竹咲大夫		咲大夫まかり通る		①昭和62年10月 ④長征社
	心中を題材にした作品と解説 近松門左衛門の作品 曾根崎心中	解説	佐藤修一		江戸時代の心中と浄瑠璃・歌舞伎		①昭和62年11月 ④佐藤修一
	近松世話浄瑠璃のせりふ論一初期心中物における三人目登場の意義について一	研究	伊川龍郎		文学研究科紀要別冊（文学・芸術編）	14	①昭和63年1月 ④早稲田大学大学院文学研究科
271	人形一覽	写真			国立劇場上演資料集	271	①昭和63年2月 ④国立劇場芸能調査室 ③昭和56年2月東京国立劇場小劇場公演より首の写真
	テーマの無い近松上演	劇評	富岡泰		演劇界	第46巻第3号	①昭和63年3月 ④演劇出版社 ③昭和63年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）
550	第四章・第二節 近松の浄瑠璃とその周辺 IV 世話物の諸相	研究	原道生		日本文芸史一表現の流れ	第4巻近世	①昭和63年4月 ④河出書房新社
	世話物 曾根崎心中	解説	藤野義雄		近松名作事典		①昭和63年5月 ④桜楓社
	文楽教室のありかた 演目に関連づけた解説を	劇評			演劇界	第46巻第8号	①昭和63年7月 ④演劇出版社 ③昭和63年6月国立文楽劇場所演（短評）

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽時評 文楽の『BUNRAKU』化	批評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	2	①昭和63年12月 ④リプロポート ③昭和63年6月国立文楽劇場所演
	第六話 口伝は師匠にあり稽古は花鳥風月にあり *花鳥風月	芸談	《5》竹本織大夫 (《9》竹本源太夫)・高木浩志		織大夫夜話一文楽へのいざない		①昭和63年7月 ④東方出版 ③《8》竹本綱太夫の「天満屋」
	第八話 切場 *心中重井筒・六軒町						③《8》竹本綱太夫の「天満屋」初演のとき
	世話浄瑠璃の誕生	研究	鳥越文蔵		虚実の慰み 近松門左衛門		①平成1年3月 ④新典社 ③日本の作家28
569	義太夫節の成立—竹本義太夫	参考	法月敏彦		国文学 解釈と鑑賞	第54巻5号	①平成1年5月 ④至文堂
	近松作品と現行曲—演出の変遷と改作・復活の問題— 三 昭和の近松「脚色」	批評	内山美樹子		近松への招待		①平成1年11月 ④岩波書店 ③岩波セミナーブックス31
	「曾根崎心中」の構想	研究	小山一成		立正大学大学院紀要	6号	①平成2年2月 ④立正大学大学院文学研究科
					近松浄瑠璃の研究		①平成12年10月 ④双文社出版
	「曾根崎心中」と増村保造	随想	佐川誠義		日本文学誌要	42	①平成2年3月 ④法政大学
	「曾根崎心中」における九平次が存在	研究	加藤由理		愛知女子短期大学 国語国文	第6号	①平成2年3月 ④愛知女子短期大学国語国文学会
	異質な美との融合 続・義太夫は謡曲をどう生かしているか	研究	安土政夫		上方芸能	105号	①平成2年5月 ④『上方芸能』編集部
	曾根崎心中の文章	批評	角田一郎		囀	3	①平成2年7月 ④近松応援団
	心のなかの女	参考	栗崎碧		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第37回	①平成2年8月 ④日本芸術文化振興会
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治				
	夏公演のあり方への模索	劇評	権藤芳一		演劇界	第48巻第10号	①平成2年9月 ④演劇出版社 ③平成2年8月国立文楽劇場所演(短評)
	二つの所作に見る魅力と問題点	劇評	安土政夫		上方芸能	106号	①平成2年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成2年8月国立文楽劇場所演

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「契り」の美学―「曾根崎心中」に即して―	研究	青木孝夫		比較文化研究	13	①平成2年11月 ④広島大学比較文化研究会 ③園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・近世文献目録データベース検索に拠る
	曾根崎心中―芝居と現実―	考証	吉永孝雄		大阪春秋	62号	①平成2年12月 ④大阪春秋社 ③特集〈大阪の事件〉
	新しい試みとしての『曾根崎心中』	演出	近藤瑞男		IKEBUKURO BUNRAKU解説書		①平成2年12月 ④池袋に伝統芸能を育てる会
	近松と曾根崎心中	解説	鳥越文蔵				
	文案と近松の世話物						
	付け声 原作通りの『曾根崎心中』	劇評	三浦広子		歌舞伎 研究と批評	7	①平成3年6月 ④リポレポート ③平成2年12月東京芸術劇場中ホール所演
	豊竹呂大夫のこと	劇評	近藤瑞男		歌舞伎 研究と批評	27	①平成13年6月 ④歌舞伎学会 ③平成2年12月東京芸術劇場中ホール所演（短評）
	曾根崎心中	研究	秦久美子・他		近松 鑑賞と研究	2	①平成3年1月 ④相愛女子短期大学土井ゼミ ③園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・近世文献目録データベース検索に拠る
	曾根崎心中の「お・ほ・を」	研究	坂梨隆三		人文科学科紀要 (国文学・漢文学)	94	①平成3年3月 ④東京大学教養学部国文学研究室・漢文学研究室
	『曾根崎心中』論のための覚え書	研究	白瀬浩司		解釈	第37巻第4号	①平成3年4月 ④教育出版センター ③解釈学会＝編集
	第一章 入門 * 来世もやっぱり	芸談	《3》吉田箋助		頭巾かぶって五十年 文楽に生きて		①平成3年8月 ④淡交社
	第三章 箋助の世界 * 近松の三人の女						
	箋助の世界 曾根崎心中 天満屋	グラビア	青木信二＝写真				
	曾根崎心中	漫画	岸田恋＝画		マンガ近松名作集		①平成3年8月 ④河出書房新社 ③高野敏夫＝監修
	世話浄瑠璃の創始 『曾根崎心中』	解説資料	原道生		近松門左衛門		①平成3年11月 ④新潮社 ③新潮古典アルバム19

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	上方狂言鑑賞十二月 2月 曾根崎心中	鑑賞	向井芳樹		演劇界	第50巻第2号	①平成4年2月 ④演劇出版社
	北京の『曾根崎心中』	参考	向井芳樹		同志社国文学	第36号	①平成4年3月 ④同志社大学国文学会 ③中国漢劇が「曾根崎殉情」として上演
	「足問答」の力学（ダイナミクス）—読解と 試論 『曾根崎心中』	研究	深沢昌夫		文芸研究	第130集	①平成4年5月 ④日本文芸研究会（東北大学）
	第一部 浄瑠璃史をめぐって 第四章 近松門左衛門の登場	研究	松平進		浄瑠璃の世界		①平成4年6月 ④世界思想社 ③阪口弘之＝編
	第二部 浄瑠璃の芸能とその周辺 第九章 浄瑠璃の作劇法		原道生				
	第十章 浄瑠璃の読み方—詞章と曲節		山根為雄				
	第十一章 浄瑠璃の上演形態と興行—人形遣 いの登場		秋本鈴史				
	モノローグとダイアローグの皮膜—『曾根崎 心中』平野屋徳兵衛のドラマ1—	研究	深澤昌夫		八戸工業高等専門 学校紀要	27	①平成4年12月 ④八戸工業高等専門学校 ③園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・ 近世文献目録データベース検索に拠る
	近松が描く女のドラマ	解説	向井芳樹		別冊太陽	No.80 文楽	①平成5年1月 ④平凡社
	『曾根崎心中』道行論	研究	深沢昌夫		文芸研究	第132集	①平成5年1月 ④日本文芸研究会（東北大学）
	曾根崎心中 近松門左衛門作	漫画	名古屋あゆみ		鳩よ！	11巻1号	①平成5年1月 ④マガジンハウス
	曾根崎心中	鑑賞	臣新蔵＝画／森西 真弓＝監修		マンガ近松物語		①平成5年2月 ④平凡社
	平成4年度卒業研究レポート 近松の心中観—「曾根崎心中」と「心中天の 網島」から見た—	研究	松本えり香		昭和学院国語国文	第26号	①平成5年3月 ④昭和学院短期大学国語国文学会
	近松門左衛門 世話浄瑠璃の作品 曾根崎心中—女のドラマの成立—	解説	向井芳樹		元禄文学の開花Ⅲ 近松と元禄の演劇		①平成5年3月 ④勉誠社 ③講座元禄の文学4
	世話浄瑠璃の特色—『曾根崎心中』に即し て—	研究	井口洋				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『曾根崎心中』に見る〈他界観〉について	研究	青木孝夫		日本研究	8	①平成5年3月 ④国際日本文化研究センター
	歌舞伎ヒーローの誕生6 平野屋徳兵衛	鑑賞	利根川裕		演劇界	第51巻第7号	①平成5年6月 ④演劇出版社
	近松物と私 * 原作どおりの近松物	芸談	桜井弘	《5》竹本織 大夫（《9》 竹本源太 夫）	文楽談義一語る・ 弾く・遣う		①平成5年8月 ④創元社 ③井野辺潔＝監修、義太夫研究会＝編著
	もっとおもしろい文楽を * 近松にも凡作が		横山正＝聞き手／ 蒲生郷昭＝文章化	《2》桐竹勘 十郎			
	嘘を真らしく * 横幕開けるにも間が * ヨーロッパでは火の玉は飛ばない		茂手木潔子	《3》吉田襄 助			
	世話浄瑠璃の展開 一浪漫的出発・その変貌 (一)『曾根崎心中』	研究	白方勝		近松浄瑠璃の研究		①平成5年9月 ④風間書房
	『曾根崎心中』一西洋での受容一	研究	ドナテッラ・アッ タナズィオ		同志社国文学	39	①平成5年12月 ④同志社大学国文学会
	「曾根崎心中」と「曾根崎鴛鴦殉情」一中国 語訳における問題点をめぐって		陶麗萍				
	「曾根崎心中」平野屋徳兵衛のドラマー2一	研究	深沢昌夫		宮城学院女子大学 研究論文集	78	①平成5年12月 ④宮城学院女子大学文化学会
	『曾根崎心中』における「家族」の幻影	研究	深澤昌夫		日本文芸の潮流一 菊田茂男教授退官 記念		①平成6年1月 ④おうふう ③東北大学文学部国文学研究室＝編
	お初「曾根崎心中」	芸談	山川静夫	《3》吉田襄 助	文楽の女 吉田襄 助の世界		①平成6年3月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月淡交新書
	恋の手本『曾根崎心中』論	研究	高野敏夫		恋の手本『曾根崎 心中』論		①平成6年3月 ④河出書房新社
	帯について：その変遷と服飾表現における積 極的意味	参考	村松英子		山野研究紀要	第2巻第1号	①平成6年3月 ④山野美容芸術短期大学
	尼崎倶楽部10周年記念講演より抜粋 曾根崎心中考一近松の世界に迫る	鑑賞	倉光弘己		噂	18	①平成6年5月 ④近松応援団
	曾根崎心中考 お初と徳兵衛		玉井敬友				



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	お初のいた遊女町 「ゆかりの地」あれこれ	参考 史跡	相蘇一弘 田結荘哲治		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第55回	①平成6年7月 ④日本芸術文化振興会
	玉男・簀助の視線の深さ	劇評	宮辻政夫		演劇界	第52巻第10 号	①平成6年9月 ④演劇出版社 ③平成6年7～8月国立文楽劇場所演
	義太夫の格が備わった住大夫の語り	劇評	宮辻政夫		上方芸能	120号	①平成7年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成6年7～8月国立文楽劇場所演
	余滴集 「曾根崎心中」の基礎知識	研究	白瀬浩司		解釈	第40巻第8 号	①平成6年8月 ④教育出版センター ③解釈学会＝編集。園田学園女子大学近松研究所 の日本古典演劇・近世文献目録データベース検索 に拠る
	『曾根崎心中』理解における西洋と日本	考察	野間正二		京都府立大学学術 報告 人文	第46号	①平成6年11月 ④京都府立大学
	第三部 名作の鑑賞 世話物 曾根崎心中	鑑賞	藤田洋＝編		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改訂版、平成23年2月第3版発行
	門左衛門が往く 曾根崎心中・道行をたどる	史跡			囀	21	①平成7年2月 ④近松応援団
	段切りの彫刻美、玉男の俊寛	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後 期の輝き一劇評と 文楽考一		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③平成7年2月東京国立劇場小劇場所演（短評）。 初出＝「読売新聞」平成7年2月8日
	「鬼界が島」の充実感	劇評	福本和生		演劇界	第53巻第4 号	①平成7年3月 ④演劇出版社 ③平成7年2月東京国立劇場小劇場所演
	『恋の手本一曾根崎心中論』高野敏夫著	書評	深谷大		演劇学	第36号	①平成7年3月 ④早稲田大学演劇学会
	1994年の上方芸能界をふり返って 文楽一『曾根崎心中』と復活のあり方	評論	山田和人		上方芸能	120号	①平成7年3月 ④『上方芸能』編集部
	I 昭和文楽の思い出 * 文楽青少年芸術劇場	回想	吉永孝雄		吉永孝雄の私説昭 和の文楽		①平成7年5月 ④和泉書院 ③近松研究所叢書2
	《コラム》西亭と新作・復曲		山田和人				③野沢松之輔の新作と復曲
	《コラム》近松物復曲上演記録昭和38～58	記録					
	文楽見どころ聞きどころ 名作集 曾根崎心 中	鑑賞	廓正子		文楽入門		①平成7年6月 ④淡交社 ③淡交ムック

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松門左衛門 *「心中物」というジャンルを開いた『曾根崎心中』の大成功 *世話物の概念を改め、文学の傑作にまで高める *心中事件に悲劇の素材を発見、近松の筆で市井の人物が英雄に *日本文学史上もっとも美しい文章の一つ、お初徳兵衛の道行 *二人の死に救いと正当性を認め、来世での幸福を約束 *世話物という新しい演劇分野を開拓した『曾根崎心中』	研究	ドナルド・キーン ／徳岡孝夫＝訳		日本文学の歴史	8近世篇2	①平成7年7月 ④中央公論社
	Ⅱ 人形浄瑠璃 10 人形浄瑠璃の作品 (3) 曾根崎心中	研究	橘英哲		講座日本の演劇	4近世の演劇	①平成7年8月 ④勉誠社
	文楽の「曾根崎心中」	研究	松崎仁		東京大学国語国文学会会報	34	①平成7年10月 ④東京大学国語国文学会 ③園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・近世文献目録データベース検索に拠る
	死もまた生の道程・江戸の心中 『曾根崎心中』	解説	諏訪春雄		別冊歴史読本 江戸の心中	第20巻第46号	①平成7年11月 ④新人物往来社
	名作紹介・『曾根崎心中』一近松門左衛門	梗概	田口章子				
	近松世話浄瑠璃の方法	解説	井口洋		近松浄瑠璃集	下巻	①平成7年12月 ④岩波書店 ③新日本古典文学大系92
	「曾根崎心中」一放火論2	参考	多田道太郎		群像	第51巻第5号	①平成8年5月 ④講談社
	「曾根崎心中」を考える	研究	鶴見誠		正本近松全集	別巻2	①平成8年8月 ④勉誠社
	「ロック曾根崎心中」見聞記	参考	山下喜明		文楽いこ会	0号	①平成8年9月 ④鈴木ななえ
	「ロック曾根崎心中」との取り組みについて	芸談	桐竹紋寿				
	ロック曾根崎とわたし		《5》吉田文吾				
	道行き一別れのプロセス	研究	田中優子		IS	第74号	①平成8年12月 ④ポーラ文化研究所

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松と西鶴一契約・説得・宙吊りー	研究	葛綿正一		沖縄国際大学日本 語日本文学研究	第1巻 第1号	①平成9年1月 ④沖縄国際大学文学部
	歌舞伎と文楽の「曾根崎心中」	解説	戸部銀作		近松座歌舞伎公演 筋書	13	①平成9年5月 ④松竹
	歌舞伎の恋八景 曾根崎心中一心中に託した若い生命	梗概	利根川裕		演劇界	第55巻第8 号	①平成9年6月 ④演劇出版社 ③臨時増刊号〈歌舞伎の恋人たち〉
	第二部 現代の文楽 Ⅲ 文楽の演出(一) 一時代とともに歩む人形 4 実行	芸談	《1》吉田玉男・高 木浩志		岩波講座 歌舞 伎・文楽	第10巻今日 の文楽	①平成9年12月 ④岩波書店
	Ⅴ 文楽の演出(三) 一復活・通し上演と太夫ー 3 原作『曾根崎心中』	研究	《5》豊竹呂大夫・ 内山美樹子				
	伝統劇演出の周辺 * 舞台表現の「意味」についてー『曾根崎心 中』「天満屋の段」に即して	研究	青木孝夫		演劇と映画 複製技術時代のド ラマと演出		①平成10年1月 ④晃洋書房
	簗助のお初が秀逸	劇評	福本和生		演劇界	第56巻第4 号	①平成10年3月 ④演劇出版社 ③平成10年2月東京国立劇場小劇場所演
	批評 錦糸襲名と見取り狂言の未来	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批 評	22	①平成10年12月 ④歌舞伎学会 ③平成10年2月東京国立劇場小劇場所演(短評)
	曾根崎心中	鑑賞	国立文楽劇場普及 養成課＝編		まんがでぶんらく	1	①平成10年3月 ④日本芸術文化振興会
	新注絵入曾根崎心中 現代語訳付	テキスト	松平進＝編		新注絵入曾根崎心 中 現代語訳付		①平成10年4月 ④和泉書院 ③本文(頭注あり)、現代語訳、解説「近松の生 涯と『曾根崎心中』」
	第三部 近松の時代 Ⅱ 世話浄瑠璃の成立と展開 1 『曾根崎心中』とその影響	研究	井口洋		岩波講座 歌舞 伎・文楽	第8巻近松 の時代	①平成10年5月 ④岩波書店
531	浄るりの恋 曾根崎心中と近松門左衛門	鑑賞	古井戸秀夫		歌舞伎・問いかけ の文学		①平成10年7月 ④ぺりかん社
	『曾根崎心中』について一九平次の中に潜む ものー	研究	千住由貴子		活水日文	第36号	①平成10年10月 ④活水学院日本文学会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	近松の後悔(4) 一番の瑾今聞くに汗をながすー	研究	大橋正叔		山辺道	第43号	①平成11年3月 ④天理大学出版部
	おはつ 愛に殉じて	鑑賞	鳥居フミ子		近松の女性たち		①平成11年7月 ④武蔵野書院 ③近松門左衛門年譜付載
	遊女はつと梅川	解説	細窪孝		東京家政学院大学 紀要 人文・社会学系	第39号	①平成11年7月 ④東京家政学院大学
					愛に生きた江戸の 女 明治の女ー近世 から近代へ文学の 展開ー		①平成12年8月 ④蒔臺書房
	「ゆかりの地」あれこれ	史跡	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第75回	①平成11年7月 ④日本芸術文化振興会
	叢助“お半”でカムバック	劇評	廓正子		演劇界	第57巻第13号	①平成11年9月 ④演劇出版社 ③平成11年7～8月国立文楽劇場所演(短評)
	叢助、八カ月ぶりの舞台復帰	劇評	片山剛		上方芸能	135号	①平成12年2月 ④『上方芸能』編集部 ③平成11年7～8月国立文楽劇場所演
	批評 三本の見取り講演を中心に	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	25	①平成12年6月 ④歌舞伎学会 ③平成11年7～8月国立文楽劇場所演(短評)、9～10月ドイツ公演記事
	公開講座特別講演 近世の演劇	解説	ドナルド・キーン		大阪青山短期大学 研究紀要	25	①平成11年12月 ④大阪青山短期大学 ③平成9年12月20日に行われた公開講座の記録
	恋愛悲劇に見る文化的差異ー『ロメオとジュリエット』と『曾根崎心中』	考察	木原文子		愛知産業大学短期 大学紀要	第12号	①平成11年12月 ④愛知産業大学短期大学
	文楽12章 8 「曾根崎」を蘇らせた人	鑑賞	大谷利治		演劇界	第58巻第11号	①平成12年8月(9月号) ④演劇出版社
	「近松」の浄瑠璃と人形	参考	大谷利治		噂	44	①平成12年11月 ④近松応援団
	西鶴と近松	考察	高野敏夫		国立劇場文楽公演 解説書	第134回	①平成13年5月 ④日本芸術文化振興会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
432	玉男芸話10	芸談	森西真弓	《1》吉田玉男	国立劇場上演資料集	432	①平成13年5月 ④日本芸術文化振興会
550	曾根崎心中				吉田玉男文楽藝話		①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	住大夫の円熟の芸境	劇評	福本和生		演劇界	第59巻第9号	①平成13年7月(8月号) ④演劇出版社 ③平成13年5月東京国立劇場小劇場所演(短評)
	批評 「一谷＝軍記」上演台本のことなど ※＝は嫩の右が欠	劇評	内山美樹子		歌舞伎 研究と批評	28	①平成14年1月 ④歌舞伎学会 ③平成13年5月東京国立劇場小劇場所演
	近松と私	研究	ドナルド・キーン ／吉田健一＝訳		能・文楽・歌舞伎		①平成13年5月 ④講談社 ③講談社学術文庫、平成10年11月6日早稲田大学講演のもの
					ドナルド・キーン 著作集	第6巻 能・文楽・ 歌舞伎	①平成25年1月 ④新潮社
	第3章 人形浄瑠璃・文楽と近松門左衛門 3、近松門左衛門の作品と生涯 新浄瑠璃『曾根崎心中』の大ヒット	研究	廣瀬久也		人形浄瑠璃の歴史		①平成13年7月 ④戎光祥出版
	五、文楽へのいざない *ロックンロール	芸談	桐竹紋寿		文楽・女形ひとすじ おつるから政岡まで		①平成13年9月 ④東方出版 ③ロック曾根崎心中
	文楽は日本のサグラダ・ファミリアだ～っ 其の二●『サラダ記念日』的『曾根崎心中』	鑑賞	田中マリコ		文楽に連れてって!		①平成13年11月 ④青弓社
	文楽鑑賞ベストテン 其の一●ビギナーはやっぱり近松門左衛門・ 部門、近松ベスト5 一、『曾根崎心中』						
	『曾根崎心中』 三十三所観音廻り	解説	松平進		近松に親しむ その時代と人・作品		①平成13年12月 ④和泉書院 ③IZUMI BOOKS 6。「大阪民主新報」(平成12年1～12月)の連載(50回)をまとめたもの
	細かな演技						
	徳兵衛の事情						
	三日以内に						
	やつし徳兵衛						
	天神の森へ						
	二人の最期						
	緊密感						

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	吉田叢太郎・吉田玉女にきく	芸談	広瀬依子	吉田叢太郎 (《3》桐竹 勘十郎)・ 吉田玉女 (《2》吉田 玉男)	国立文楽劇場文楽 公演解説書	第85回	①平成14年1月 ④日本芸術文化振興会
	徳兵衛『曾根崎心中』	芸談	《1》吉田玉男・山 川静夫		文楽の男 吉田玉 男の世界		①平成14年1月 ④淡交社 ③青木信二＝写真。平成28年8月淡交新書
	一八世紀・心的映像人論：近松『曾根崎心 中』から始めて	研究	青木正次		藤女子大学紀要 第I部	39	①平成14年2月 ④藤女子大学
	『曾根崎心中』のお初	鑑賞	大谷晃一		文楽の女たち		①平成14年2月 ④文芸春秋 ③文春新書228
	名作を旅する② 近松門左衛門「曾根崎心中」	史跡	平尾紘		大塚薬報	572	①平成14年2月 ④大塚製薬工場大塚薬報編集部
	世話浄瑠璃の魅力―庶民が主人公―	解説	森西真弓		NHK日本の伝統芸 能		①平成14年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門9
	対談 『曾根崎心中』をめぐって―近松を演 じて	参考	《3》中村鴈治郎 (《4》坂田藤十 郎)・原道生		國文學 解釈と教 材の研究	第47巻6号	①平成14年5月 ④學燈社 ③特集〈近松一人形浄瑠璃と歌舞伎の劇的空間〉
力549	作者近松門左衛門の生涯	研究	大橋正叔				
	近松、その表現したもの * 近松一語りとドラマと虚実のあいだ		深澤昌夫				
	近松：その演劇創造の場 * 観客と評判		飯島満				
	近松研究のこれから―研究をはじめようとす る人たちへ	参考	武井協三				
	近松：上方劇壇の流れ * 竹本義太夫―道頓堀興行界の戦略	研究	阪口弘之				
	* 近松と錦文流、紀海音		長友千代治				
	* 辰松八郎兵衛		平田澄子				
					近松浄瑠璃の成立 と展開		①平成22年3月 ④新典社 ③新典社研究叢書208
	曾根崎心中（加賀掾十行本）	研究	森谷裕美子		歌舞伎浄瑠璃稀本 集成	下巻	①平成14年5月 ④八木書店 ③演劇研究会＝編

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	「松、棕櫚の一木の相生」考	参考	佐藤彰		噂	50	①平成14年5月 ④近松応援団
	字幕つき『曾根崎心中』	劇評	廓正子		演劇界	第60巻第9号	①平成14年7月（8月号） ④演劇出版社 ③平成14年6月国立文楽劇場所演
	失われた神話 —『曾根崎心中』と近代小説	随筆	佐伯順子		国立文楽劇場文楽 公演解説書	第87回	①平成14年7月 ④日本芸術文化振興会
	竹本千歳大夫にきく	芸談	広瀬依子	竹本千歳大 夫			③「天神森の段」
	文楽〈曾根崎心中〉国立文楽劇場	記事			演劇界	第60巻第12号	①平成14年9月（10月号） ④演劇出版社 ③《1》吉田玉男「曾根崎心中」徳兵衛1111回
	楽しめる「親子劇場」	劇評	田結荘哲治				③平成14年7～8月国立文楽劇場所演（短評）
	越路大夫以後の文楽へ	劇評	片山剛		上方芸能	146号	①平成14年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成14年6月国立文楽劇場（文楽若手会）所演、 平成14年7～8月国立文楽劇場所演
	二〇〇二年下半期の文楽	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批 評	31	①平成15年8月 ④歌舞伎学会 ③平成14年7～8月国立文楽劇場所演（短評）
	初めての世話物—曾根崎心中—	梗概	谷野優子		わくわく私の文楽		①平成14年9月 ④手鞠文庫
	簗助のいる曾根崎心中	随想	にはの寿々女		文楽いこ会	8	①平成14年11月 ④鈴木ななえ
	十九のお初	芸話	岡崎文		演劇界	第61巻第1号	①平成14年12月（平成15年1月号） ④演劇出版社 ③《1》吉田玉男の「曾根崎心中」
	生命と倫理 「曾根崎心中」における生命	研究	栗原剛		季刊日本思想史	62	①平成14年12月 ④ペリかん社 ③特集〈生命と倫理〉。日本思想史懇話会＝編。 園田学園女子大学近松研究所の日本古典演劇・近 世文献目録データベース検索に拠る

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	讚 * 初演の頃から	芸談	《7》鶴沢寛治		文楽 吉田玉男		①平成15年1月 ④演劇出版社
	* 永遠なる恋人		《3》吉田簑助				
	* 徳兵衛での玉男さんの足運び		吉田文雀				
	恋	写真	小川知子=撮影				
	私の履歴書 * 曾根崎心中	芸談	《1》吉田玉男				③平成3年9月日本経済新聞に29回にわたり連載されたもの
	* 海外公演						③昭和43年ヨーロッパ公演
	* 世代交代						
	芸の根源—履歴書以後	芸話	吉谷忠弘				
	第四章 近世文芸の女性像 第一節 近世劇に現れる女性像	研究	鳥居フミ子		元禄浄瑠璃の展開		①平成15年2月 ④勉誠出版
	これを見よ！文楽演目厳選10 曾根崎心中	鑑賞	七海友信		歌舞伎・文楽の見方が面白いほどわかる本		①平成15年4月 ④中経出版
	「上方」とその特質 三都比較に見る近世大阪の特質 * 男を磨く	考察	森西真弓		上方芸能の魅惑— 鷹治郎・玉男・千作・米朝の至芸		①平成15年7月 ④日本放送出版協会 ③九平次
	名人たちがつむぎだす上方芸能の魅力 文楽—吉田玉男 * 『曾根崎心中』復活初演	芸談					③徳兵衛
	第五章 近松ものは字余り字足らずで、私嫌い いでんねん 『曾根崎心中◎天満屋の段』何もかもがきれい づくめの浄瑠璃で、私はあんまり好きやおまへん	芸談	《7》竹本住大夫		文楽のころを語る		①平成15年8月 ④文藝春秋 ③平成21年1月文庫版
	初めて観るならこの演目がおすすめ8 曾根崎心中	解説	松平盟子		劇場に行こう 文楽にアクセス		①平成15年10月 ④淡交社
	劇場必携演目ダイジェスト24 曾根崎心中	あらすじ					
	曾根崎心中	小説化	高野正巳		近松名作物語		①平成16年2月 ④文元社 ③教養ワイドコレクション。解説付載。「現代教養文庫648」（社会思想社・昭和44年5月刊）を底本とした0D版
	近松の文学—『世継曾我』と『曾根崎心中』を中心に—	解説	平田澄子		文教大学湘南総合研究所紀要 湘南フォーラム	第8号	①平成16年3月 ④文教大学湘南総合研究所 ③公開講座「日本文学の諸相」



上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	魅力ある「九段目」	劇評	福本和生		演劇界	第62巻第5号	①平成16年3月（4月号） ④演劇出版社 ③平成16年2月東京国立劇場小劇場所演
	「曾根崎心中」論—近松が描いた遊女像	研究	若林亜希		武蔵野大学大学院 紀要	第4号	①平成16年3月 ④武蔵野大学大学院紀要編集委員会
	名作紹介 曾根崎心中	解説	江南真理		物語で学ぶ日本の 伝統芸能	4文楽	①平成16年4月 ④くもん出版 ③平島高文＝監修
	第4章 作者の氏神 新しい神	解説	小西聖一		近松門左衛門 日 本の芝居の幕が開 く		①平成16年10月 ④理論社 ③NHKにんげん日本史。酒寄雅志＝監修
	近松門左衛門の諸本の考察（二）—『心中二 枚絵草子』から『曾根崎心中』—	研究	山根為雄		近松正本考		①平成16年11月 ④和泉書院 ③研究叢書322。初出＝「女子大國文」第104号 （京都女子大学国文学会・昭和63年12月）
	『曾根崎心中』の落穂考						③初出＝「女子大國文」第123号（京都女子大学国 文学会・平成10年6月）
	第二章 名作ガイド 曾根崎心中	解説	松平盟子・酒井順 子		豊竹咲甫大夫と文 楽へ行こう		①平成16年12月 ②旬報社 ③旬報社まんぼうシリーズ。豊竹咲甫大夫＝著
	第三章 文楽的恋愛論～近松門左衛門の世界 ～ *身をひさぐ遊女の純愛	鑑賞	松平盟子				
	『曾根崎心中』から『お初天神記』へ—浄瑠 璃本を通してみる作品の変転—	研究	森谷裕美子		学習院大學國語國 文學會誌	第48号	①平成17年3月 ④学習院大學國語國文学會 ③諏訪春雄先生古稀記念特集号
	アジア性研究・母界論4『曾根崎心中』・風 俗理念語りの転倒と自然身体映像	研究	青木正次		藤女子大学国文学 雑誌	第72号	①平成17年3月 ④藤女子大学国語国文学會
	第一章 キーワードでたどる文楽 *介錯 *曾根崎心中	鑑賞	亀岡典子		文楽ざんまい		①平成17年6月 ④淡交社
	第二章 太夫・三味線・人形遣い *吉田玉男	芸談					
	世話物 曾根崎心中	解説	高木秀樹＝著／青 木信二＝写真		あらすじで読む 名作文楽50		①平成17年7月 ④世界文化社 ③ほたるの本。平成27年9月加筆再構成した新版
	名作文楽50 曾根崎心中				文楽手帖		①平成26年8月 ④角川学芸出版 ③角川ソフィア文庫。『あらすじで読む 名作文 楽50』を加筆修正のうえ再構成したもの

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	住大夫・錦糸と人形中堅の「河庄」	劇評	水落潔		演劇界	第64巻第6号	①平成18年3月（4月号） ④演劇出版社 ③平成18年2月東京国立劇場小劇場所演
	『曾根崎心中』における助詞「が」と「の」－「が」の用法の変化を中心に－	研究	新垣公弥子		千葉大学社会文化科学研究	第12号	①平成18年3月 ④千葉大学大学院社会文化科学研究科
	映像の中の芸能（15） 曾根崎心中	参考	藤井康生		上方芸能	160号	①平成18年6月 ④『上方芸能』編集部
	浄瑠璃史と近松一恋慕愁嘆の系譜－ 人間国宝に聞く－世界の文化遺産「文楽」－	考察 芸談	阪口弘之 阪口弘之＝聞き手	《7》竹本住大夫	上方文化講座 曾根崎心中		①平成18年8月 ④和泉書院 ③大阪市立大学文学研究科「上方文化講座」企画委員会＝編
	観音廻り *辰松八郎兵衛口上・出遣い図を読む	研究	《3》桐竹勘十郎・阪口弘之				
	*「観音廻り」の文章－和歌的修辞を中心に－	参考	金光桂子				
	*「観音廻り」の背景－観音信仰の問題を中心に－		小林直樹				
	生玉社前の場 *「町の衆」と「御前衆」	考証	塚田孝				
	天満屋の場 *縁の下屋と人形演出	芸談	《3》桐竹勘十郎				
	*「天満屋の場」一語りと人形演出－		松浦恒雄＝聞き手	竹本津駒大夫・鶴沢清介・《3》桐竹勘十郎			
	*堂嶋新地と茶屋	考証	塚田孝				
	徳兵衛お初道行 *「徳兵衛お初心中の道行」舞台	芸談	阪口弘之＝聞き手	竹本津駒大夫・鶴沢清介・《3》桐竹勘十郎			
	*日本文学にみる道行文の流れ	参考	金光桂子				
	*中国演劇における「心中」		松浦恒雄				
	*近松の死生観		金児曉嗣				
	「上方文化講座」に参加して 母音で楽しむ「観音廻り」	研究	四方淑江				
	『曾根崎心中』主要参考文献解題	資料	坂本美加・四本奈央				

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	『曾根崎心中』における「生」「死」「喜」「悲」		菊池聡子、齋藤兆古、井波真弓、堀井清之		可視化情報学会誌	27	①平成19年7月 ④可視化情報学会
	文楽『曾根崎心中』受容に際する視覚効果について：舞踊譜作成とその解説の有効性	研究	笠井津加佐、新谷佳冬		人間社会環境研究	第14号	①平成19年9月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
550	曾根崎心中	芸談	森西真弓	《1》吉田玉男	吉田玉男文楽藝話		①平成19年9月 ④日本芸術文化振興会 ③国立劇場上演資料集増刊
	文楽・知識の泉⑩ 曾根崎心中	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第108回	①平成19年11月 ④日本芸術文化振興会
	新コンビの『曾根崎心中』	劇評	廓正子		演劇界	第66巻第1号	①平成20年1月 ④演劇出版社 ③平成19年11月国立文楽劇場所演
	今ごろは、玉男さん	劇評	片山剛・槌谷礁		上方芸能	167号	①平成20年3月 ④『上方芸能』編集部 ③平成19年11月国立文楽劇場所演
	「曾根崎心中」成立の意義―世話狂言との比較をめぐって	研究	早川久美子		日本文学	第56巻第12号	①平成19年12月 ④日本文学協会
	書評『〈上方文化講座〉曾根崎心中』	書評	深澤昌夫		近松研究所紀要	第18号	①平成19年12月 ④園田学園女子大学近松研究所
	情報戦としての心中―『曾根崎心中』の評判・沙汰・噂―	研究	染谷智幸		日本文学	第57巻第1号	①平成20年1月 ④日本文学協会
	曾根崎心中	現代語訳	宇野信夫＝訳		現代語訳 曾根崎心中		①平成20年1月 ④河出書房出版 ③河出文庫。注釈（池田弥太郎）付載。日本の古典19『近松門左衛門』（昭和47年3月刊）より再編
	文楽『曾根崎心中』復活上演をめぐる諸問題	研究	笠井津加佐		人間社会環境研究	第16号	①平成20年10月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
	落語・時間を訪ねる旅―上方古典芸能と文化を巡る（第2回） 「曾根崎心中」（文楽）	参考	林家竹丸		CEL	86	①平成20年10月 ④大阪ガスエネルギー文化研究所（CEL）
	文楽『曾根崎心中』スコアの試作について	研究	笠井津加佐、新谷佳冬、エリザベス・サリバン、他		人間社会環境研究	第17号	①平成21年3月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
	異郷遊歴―古典文学の異空間（第23回）橋―道行の時空『曾根崎心中』	参考	前田速夫		國文學 解釈と教材の研究	第54巻4号	①平成21年3月 ④學燈社
	曾根崎心中	現代語訳	井上勝志＝編		近松門左衛門『曾根崎心中』『けいせい反魂香』『国性爺合戦』ほか		①平成21年8月 ④角川学芸出版 ③角川ソフィア文庫。ビギナーズ・クラシックス 日本の古典

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽スコアに表れた作品受容の軌跡—文楽『曾根崎心中』の場合	研究	笠井津加佐		人間社会環境研究	第18号	①平成21年9月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
	曾根崎心中	解説加工 訳	大伴茫人		近松心中 加工訳		①平成21年12月 ④梧桐書院 ③あおぎり文庫・さらさら読む古典1
	師弟コンビの滋味	劇評	津田類		演劇界	第68巻第4号	①平成22年4月 ④演劇出版社 ③平成22年2月東京国立劇場小劇場所演
	心中の持つ意義—『曾根崎心中』を読んで	研究	田中美帆		研究ノート	38	①平成22年2月 ④日本女子大学国語国文学会
	『曾根崎心中』—近松門左衛門の歌舞伎狂言からの考察	研究	菊池聡子		言語・文学研究論集	第10号	①平成22年3月 ④白百合女子大学言語・文学研究センター
	『曾根崎心中』の基底	研究	深谷大		芸能文化史	第25号（最終号）	①平成22年3月 ④芸能文化史研究会
	『曾根崎心中』から近松の悲劇世話物の特色を見る	解説	楊華		東アジア日本語教育・日本文化研究	第14輯	①平成23年3月 ④東アジア日本語教育・日本文化研究学会
	『曾根崎心中』における浄瑠璃から歌舞伎への展開	研究比較	野崎茂智子		弘学大語文	第37号	①平成23年3月 ④弘前学院大学国語国文学会
	『杉本文楽 曾根崎心中』の底本選定にあたって	研究	神津武男		神奈川芸術劇場 「杉本文楽 曾根崎心中」上演台本 +解説		①平成23年8月 ④小田原文化財団
	完全通しへの糧となれば	劇評	富岡泰		演劇界	第70巻第2号	①平成24年2月 ④演劇出版社 ③平成23年12月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	第二章 第一期模索期 曾根崎心中Ⅰ・Ⅱ	研究	白倉一由		近松世話悲劇の研究		①平成24年6月 ④岩田書院
	集大成のお初	劇評	宮辻政夫		演劇界	第70巻第10号	①平成24年10月 ④演劇出版社 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演
	闇に佇む光	劇評	森田美芽		上方芸能	186号	①平成24年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成24年7～8月国立文楽劇場所演
	日本・ドミニカ共和国両国における日本伝統文化の受容について：文楽『曾根崎心中』の受容を例に	研究	笠井津加佐、雄谷ソニア啓子、吉田千里		人間社会環境研究	第24号	①平成24年9月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
	人形浄瑠璃を芸術にした男	入門	西本鶏介		上方の人情をえがいた浄瑠璃作家 近松門左衛門		①平成25年2月 ④ミネルヴァ書房 ③よんでしらべて時代がわかる ミネルヴァ日本歴史人物伝。大石学＝監修、野村たかあき＝絵
	義太夫と近松	解説	鳥越文蔵		国立劇場文楽公演 解説書	第183回	①平成25年5月 ④日本芸術文化振興会

上演資料 集掲載号	題名	種目	執筆著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽『曾根崎心中』の受容に関する一報告— 米国居住ラテン諸国の人々の場合	研究	笠井津加佐・雄谷 ソニア啓子		人間社会環境研究	第26号	①平成25年9月 ④金沢大学大学院人間社会環境研究科
	現代芸術としての文楽—杉本文楽『曾根崎心 中』パリ公演をめぐる	研究	堀切克洋		シアターアーツ	57号	①平成26年2月 ④日仏演劇協会
	[パリ公演レポート] 杉本文楽 曾根崎心中 付り観音廻り	記録	編集部＝文／小野 奏恵・南陽一浩＝ 取材協力		美術手帖	Vol. 66 第1000号	①平成26年3月 ④美術出版社
	「曾根崎心中」における「手本」徳兵衛の人物 像から	研究	菅原令子		倫理学紀要	第21輯	①平成25年 ④東京大学大学院人文社会系研究科 ③東京大学大学院人文社会系研究科倫理学研究室 ＝編
	メディアに表象される近世中期における 「家」に対する都市部民衆の集合心性—近松 世話物『曾根崎心中』『心中卯月紅葉』『心 中宵庚申』『生玉心中』を中心に—	研究	中基希実		家族研究年報	No. 39	①平成26年7月 ④家族問題研究学会
	三つの場面で読み解く至高の悲恋「曾根崎心 中」	解説			地方公演プログラ ム		①平成26年9月 ④文楽協会 ③平成27年3月地方公演プログラムに再掲
	もう少し浄瑠璃を読もう（第7・8回） 恋のはじめの『曾根崎心中』		橋本治		芸術新潮	第65巻第 11・12号	①平成26年11・12月 ④新潮社
	表現としての時刻—江戸期まで—	研究	多ヶ谷有子		関東学院大学文学 部紀要	131	①平成26年12月 ④関東学院大学
	「曾根崎心中」に対する「悲劇」という評価 について—ギリシャ悲劇・シェイクスピア悲 劇との比較を通して	研究	菅原令子		比較思想研究	41	①平成26年 ④比較思想学会
	人形浄瑠璃『曾根崎心中』におけるお初人形 の足について	研究	長谷川明子		東京藝術大学美術 学部紀要	53	①平成27年10月 ④東京藝術大学美術学部
	『曾根崎心中』よもやま話	解説			国立劇場文楽鑑賞 教室公演解説書	第48回	①平成28年5月 ④日本芸術文化振興会
	曾根崎心中	本文語 注					
	曾根崎心中	現代語 訳	いとうせいこう		能・狂言／説経節 ／曾根崎心中／女 殺油地獄／菅原伝 授手習鑑／義経千 本桜／仮名手本忠 臣蔵		①平成28年10月 ④河出書房新社 ③池澤夏樹＝個人編集、日本文学全集10。解題 （内山美樹子）・解説（池澤夏樹）付載